# 第2期藤井寺市まち･しと･しごと創生総合戦略
# 内部評価･検証

＜令和2年度版＞

令和3年8月

# 目　次

第2期藤井寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略　内部評価・検証の見方・・・・　1

基本目標１　藤井寺市で結婚・出産・子育ての希望をかなえる　・・・・・　2

戦略プロジェクト1-1　子育て支援の推進・・・・・・・・・・・・・・・　2

戦略プロジェクト1-2　地域に密着した教育の推進・・・・・・・・・・　6

戦略プロジェクト1-3　ワーク・ライフ・バランスの推進・・・・・・・　10

基本目標２　都市の魅力を創出・発信し、賑わいを高める　・・・・・・・・・・　11

戦略プロジェクト2-1　世界文化遺産関連施策の推進・・・・・・・・・　11

戦略プロジェクト2-2　シティプロモーションによる魅力発信・・・・・　14

戦略プロジェクト2-3　まちなか観光の推進・・・・・・・・・・・・・・　16

戦略プロジェクト2-4　中心市街地におけるにぎわいの創出・・・・・・　19

戦略プロジェクト2-5　地域産業の活性化・・・・・・・・・・・・・・・　21

基本目標３　藤井寺市で安心して元気に暮らす　・・・・・・・・・・・・・・　24

戦略プロジェクト3-1　健康長寿のまちづくり・・・・・・・・・・・・・　24

戦略プロジェクト3-2　安心していきいきと暮らせるまちづくり・・・・　28

戦略プロジェクト3-3　多彩な人がつどい、活躍するまちづくり・・・・　30

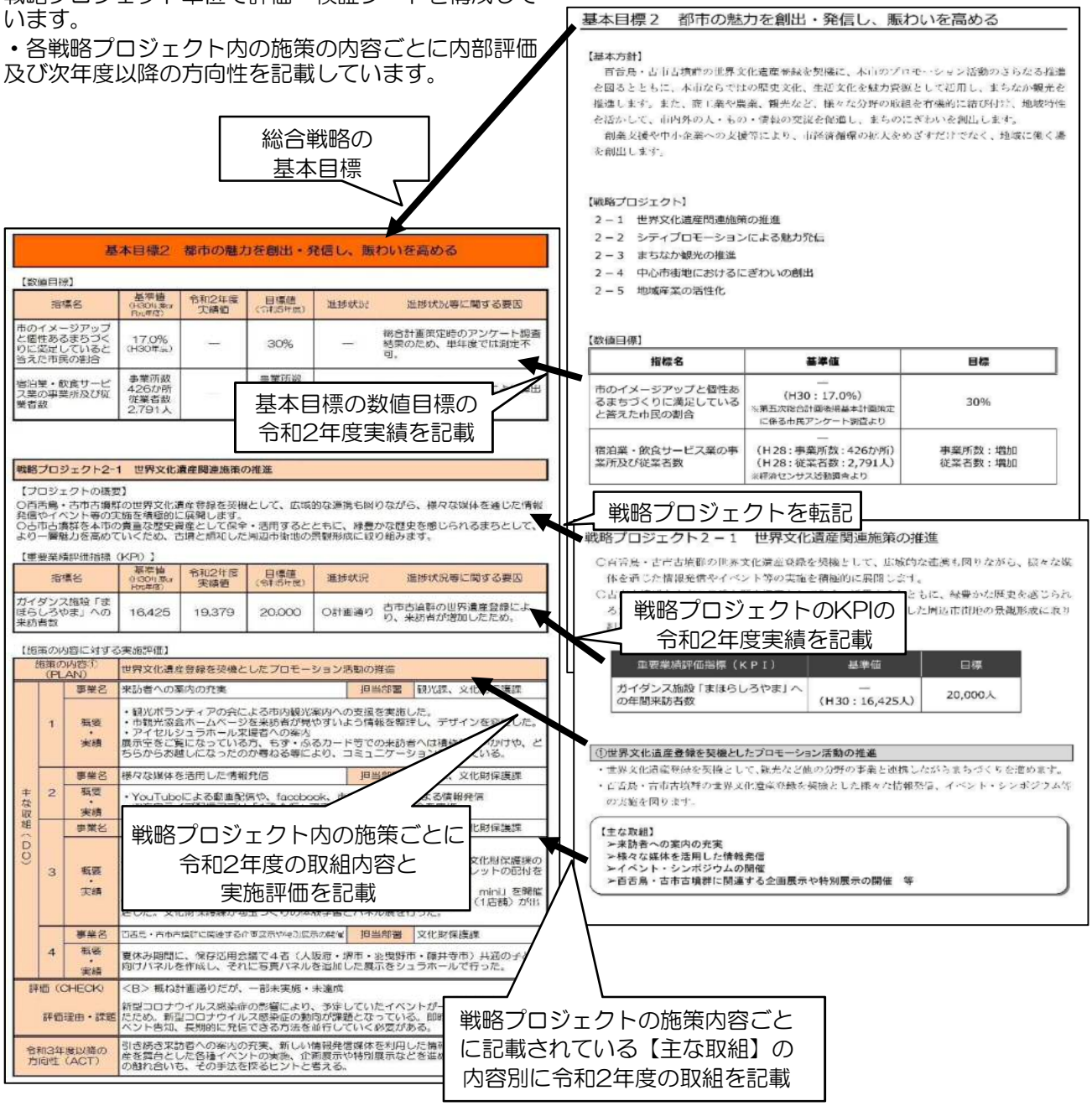
戦略プロジェクト3-4　まちの安全・安心の確保・・・・・・・・・・・・　33

# 第2期藤井寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略　内部評価・検証の見方

| 第2期藤井寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略<br>内部評価・検証 | 第2期藤井寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略 |
|---|---|

・第2期藤井寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略の戦略プロジェクト単位で評価・検証シートを構成しています。

・各戦略プロジェクト内の施策の内容ごとに内部評価及び次年度以降の方向性を記載しています。




■「施策の内容」の進捗評価について

【評価判定】以下からの選択式

＜A＞ 計画通り進行

＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成

＜C＞ 未着手

＜D＞ 完了・廃止

# 基本目標1　藤井寺市で結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【数値目標】

| 指標名 | 基準値（H30年度or R元年度） | 令和2年度実績値 | 目標値（令和5年度） | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出生数 | 448人（H30年度） | 408人 | 505人（H27年次の水準を維持） | ×下降 | 全国的な減少傾向と同様に減少傾向。 |
| 子育てが楽しいと感じることが多いと答えた人の割合（小学生を養育する保護者） | 65.7% | － | 上昇 | ― | 第二期子ども・子育て支援計画策定のニーズ調査結果のため、単年度では測定不可。 |

## 戦略プロジェクト1-1　子育て支援の推進

【プロジェクトの概要】

○妊娠期から子育て期にわたるまで、切れ目のない子育て支援を充実します。
○子育て世代が安心して働けるよう、保育需要に応じた保育施設等の整備や保育環境の充実を図ります。
○妊娠や出産に係る負担の軽減を図り、子どもを生み育てやすい環境づくりを進めます。
○地域での子育て支援サービス等の充実や子育てに関する情報提供・相談支援の充実を図ります。

【重要業績評価指標（KPI）】

| 指標名 | 基準値（H30年度or R元年度） | 令和2年度実績値 | 目標値（令和5年度） | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| 就学前教育・保育の確保量（2号、3号） | 1,196人 | 1,389人 | 1,459人 | ○計画通り | ふじみ保育園の誘致により、受け入れ人数が拡大したため。 |
| 病児・病後児保育事業の確保量 | 1,952人 | 3,172人 | 3,172人 | ◎目標値達成 | 令和2年度における実際の利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少したが、確保量については令和2年4月に開園したふじみ保育園において病後児対応型と体調不良児対応型を実施したことにより、目標値を達成した。 |
| 地域子育て支援拠点事業の確保量 | 11,891人（H30年度） | 22,424 | 16,473人 | ○計画通り | ふじみ保育園の誘致により、確保量を拡大することができたため。 |
| 赤ちゃんの駅整備環境に対する満足度 | 90.9% | 100% | 上昇 | ○計画通り | 関係課と赤ちゃんの駅の充実に努めたことと、アンケート内に要望についての記載があれば、実現可能な範囲で実施しており、アンケート内でも対応についてのお礼メッセージなどがあったことから、本結果に結びついたと思われる。 |
| 子育て支援アプリの累計インストール数 | 1,392 | 1,760 | 2,321 | ○計画通り | 乳幼児健診時や子育て世帯の転入者へ、“子育てマップ”を配布したことで、アプリの周知を図ることができ、インストール数が上昇した。 |

【施策の内容に対する実施評価】

| 施策の内容①（PLAN） | | | 保育サービス等の充実 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 就学前教育・保育の充実 | 担当部署 | 保育幼稚園課 |
| | | 概要・実績 | ・ふじみ保育園を開園<br>令和2年4月1日に定員150人のふじみ保育園を開園し、待機児童解消を図ることで、就学前保育の充実を図った。<br>・幼稚園の統合<br>令和3年3月31日に藤井寺北幼稚園を藤井寺幼稚園に統合した。 | | |
| | 2 | 事業名 | 時間外保育事業（延長保育） | 担当部署 | 保育幼稚園課 |
| | | 概要・実績 | 令和2年4月1日に開園したふじみ保育園において、延長保育事業を開始した。 | | |
| | 3 | 事業名 | 一時預かり事業の充実 | 担当部署 | 保育幼稚園課 |
| | | 概要・実績 | ・令和3年3月31日に藤井寺北幼稚園を藤井寺幼稚園に統合、令和2年3月31日に藤井寺南幼稚園野中分園及び藤井寺西幼稚園を藤井寺南幼稚園に統合、道明寺東幼稚園を道明寺南幼稚園に統合し、令和2年度より統合園による一時預かり事業（幼稚園型）を開始した。<br>・令和2年4月1日に開園したふじみ保育園において、一時預かり事業（一般型）を実施した。 | | |
| | 4 | 事業名 | 病児・病後児保育事業の推進 | 担当部署 | 保育幼稚園課 |
| | | 概要・実績 | 令和2年4月1日に開園したふじみ保育園において、病後児保育事業を開始した。 | | |
| | 5 | 事業名 | 質の高い幼児教育・保育の人材育成と確保 | 担当部署 | 保育幼稚園課 |
| | | 概要・実績 | 保育者の専門性の向上のため、市立保育所、幼稚園の合同管理職研修を行った。また、大阪府の幼児教育アドバイザー養成講座により市立保育所2名、市立幼稚園2名の認定を受け、各園での保育実践や園内研修の充実を図った。 | | |
| | 6 | 事業名 | 就学前後の円滑な接続に向けた保幼小連携の強化 | 担当部署 | 保育幼稚園課、学校教育課 |
| | | 概要・実績 | 園児、児童の交流活動、職員同士の合同研修などを計画してはいたが、コロナ禍により十分行えなかった。 | | |
| | 7 | 事業名 | 就学前教育・保育施設の整備・改修 | 担当部署 | こども施設課 |
| | | 概要・実績 | ・第５保育所に、耐震シェルターを設置<br>・藤井寺幼稚園、道明寺南幼稚園の耐震補強工事を実施<br>・藤井寺幼稚園、道明寺南幼稚園の保育室にエアコンを設置<br>・第４保育所の一部保育室の建具改修や藤井寺南幼稚園の園庭整備ほか、施設の補修を実施 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | 公立幼稚園については、藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画（前期計画）に基づき、計画通りに統合が進行しており、一時預かり事業や時間外保育事業や病児・病後児保育事業についても同様に、計画通りに進行している。<br>施設については、予定していた各種工事や空調整備などについては計画通り実施でき、一部老朽箇所の改修や緊急的な施設修繕等も実施できたが、今後も引き続き施設の維持補修に取り組むことが必要である。<br>保育環境の充実については、市立幼稚園の管理、指導が保育幼稚園課に移管され市内の幼児教育、保育を包括的に推進していく体制となった。今後は保育の質向上、人材育成などの課題解決に向けた具体的な取り組みに努めていく。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 令和3年3月31日に統合した藤井寺幼稚園において、令和3年4月より預かり保育を実施しており、それにより市内の全ての公立幼稚園で預かり保育を実施している。今後、就学前児童数の推移、利用者ニーズ等の経過観察を行い、民間保育施設等の誘致を検討していく。<br>施設については、引き続き老朽箇所等の改修や修繕を進め、安全で快適な施設の整備に努める。 | | |

| 施策の内容②（PLAN） | 母子保健サービス等の充実 | | |
|---|---|---|---|
| 主な取組（DO）1 事業名 | 妊婦健康診査・乳幼児健康診査の充実 | 担当部署 | 健康課 |
| 1 概要・実績 | 妊婦健康診査として14回の助成を行い、さらに多胎児の妊婦には追加で5回分の助成を行った。実績は延4,899人。乳幼児健康診査においては、新型コロナウイルス感染症の蔓延化予防対策のため、乳幼児健康診査を一部個別医療機関で実施した。<br>（各乳幼児健診実績） | | |

| | 対象者数 | 受診者数 | うち個別受診者数 |
|---|---|---|---|
| 4か月 | 403 | 386 | 58 |
| 1歳6か月 | 481 | 466 | |
| 3歳6か月 | 477 | 466 | |
| 2歳6か月 | 436 | 393 | 57 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 2 事業名 | 産婦健康診査・産後ケア事業等の実施 | 担当部署 | 健康課 |
| 2 概要・実績 | 医療機関等に委託し、産後2週間と1か月の2回、問診・診察・エジンバラ産後うつ病問診票等を用いて、産後うつの予防、新生児への虐待予防等を目的に行った。実績は、367人、延518人 | | |
| 3 事業名 | 乳児家庭への全戸訪問の実施 | 担当部署 | 健康課 |
| 3 概要・実績 | 乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービスにつなげた。実績397戸 | | |
| 4 事業名 | 食育の推進 | 担当部署 | 健康課 |
| 4 概要・実績 | 乳幼児健診などの機会を通して、正しい食習慣の知識の普及を行った。 | | |
| 評価（CHECK） | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| 評価理由・課題 | 新型コロナウイルス感染症の蔓延化予防対策のため、乳幼児健康診査が一部個別医療機関での実施となったり、食育の幼児や小学生などへの教室が中止となったりするなど、一部、計画通り実施できなかった。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | 新型コロナウイルス感染症予防を図りながら、コロナ禍での母子のニーズに応えられるように、オンラインや少人数での教室などさらなる母子保健サービスの充実を図る。 | | |

| 施策の内容③（PLAN） | 相談・支援体制の強化 | | |
|---|---|---|---|
| 主な取組（DO）1 事業名 | 子育て世代包括支援センターの設置 | 担当部署 | 健康課 |
| 1 概要・実績 | 令和2年度より子育て世代包括支援センターを設置し、さらに妊娠期から密に関わり、妊娠期からの切れ目ない支援を行った。 | | |
| 2 事業名 | 関係機関の連携による切れ目のない支援 | 担当部署 | 子育て支援課 |
| 2 概要・実績 | 子どもが関わる様々な機関と連携を図り、児童虐待の未然防止、早期発見、また支援が必要な児童、保護者に対し、相談・支援を行った。 | | |
| 3 事業名 | 市内における外出しやすい子育て環境整備 | 担当部署 | 子育て支援課 |
| 3 概要・実績 | 令和2年度から開設した地域子育て支援拠点の「ぽけっとひろば」内に、赤ちゃんの駅を設置し、環境整備を図った。 | | |
| 評価（CHECK） | ＜A＞ 計画通り進行 | | |
| 評価理由・課題 | 関係機関と連携を図りながら、支援が必要な家庭に定期的な訪問やケース会議を開くなど支援の充実を図った。<br>民間施設に「赤ちゃんの駅」を１か所追加で設置した。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | 引き続き、相談・支援体制の充実に取り組むとともに、子育て中の親子が安心して外出できる環境整備を実施し、子育て世帯ににやさしいまちづくりをさらに推進するため、「赤ちゃんの駅」に登録してもらえる民間事業者の募集に努める。 | | |

| 施策の内容④（PLAN） | 情報提供の推進 | | |
|---|---|---|---|
| 主な取組（DO）1 事業名 | 子育てアプリの活用 | 担当部署 | 子育て支援課 |
| 概要・実績 | 令和２年度においても、子育てに関する行政情報等の発信を行った。<br>ダウンロード数は、1,767件で前年度比で166件増加した。 | | |
| 2 事業名 | 子育てマップの作成 | 担当部署 | 子育て支援課 |
| 概要・実績 | 子育てに関する事業等の周知と情報提供のために、子育てマップを発行した。 | | |
| 3 事業名 | サポートブック「はばたき」の作成 | 担当部署 | 福祉総務課 |
| 概要・実績 | 心身の発育発達などに関する様々な支援が必要となるお子さんが、乳幼児期から成人期までのライフステージで、途切れることなく一貫した支援を受けられるよう、保護者の方と関係機関がお子さんの情報を共有し、お子さんにとって必要な支援の方向性を共有するツールとして作成し、令和2年4月より、庁内関係課及び市内全小中学校、障害児者相談支援事業所、障害児者ふれあい支援センターにて配布を開始した。令和2年度末時点約180部を配布済み。 | | |
| 評価（CHECK） | ＜A＞ 計画通り進行 | | |
| 評価理由・課題 | 各種ツールにより、子育て支援に関する情報発信、周知・配布を進めることができた。<br>また、より効果的な情報発信を行うために、令和2年度に設置した企業パートナーシップデスクの協力を得て公民連携による情報発信についての検討を行った。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | 引き続き周知・配布に努めるとともに、より良い支援ツールとすべく検討を進める。<br>令和3年度末で子育てアプリ「でらっこ」の配信終了並びにLINEアプリでの配信開始の周知を行う。子育てに関する情報をわかりやすく発信することに努める。 | | |

| 施策の内容⑤（PLAN） | 医療の充実 | | |
|---|---|---|---|
| 主な取組（DO）1 事業名 | 子どもの医療費助成制度による支援 | 担当部署 | 保険年金課 |
| 概要・実績 | 子どもの医療費助成について、令和3年4月診療分より対象年齢を18歳到達年度末まで拡大した。 | | |
| 評価（CHECK） | ＜A＞ 計画通り進行 | | |
| 評価理由・課題 | 子どもの医療費助成の拡大により、子育て家庭に対し一層の経済的負担の軽減を図ることができた。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | 市民ニーズにも注視しつつ、引き続き施策の実施に努める。 | | |

## 戦略プロジェクト1-2　地域に密着した教育の推進

【プロジェクトの概要】

〇次代を担う子どもの教育環境を充実させるため、施設整備の推進を図るとともに、地域の様々な資源を活用した学校教育を推進し、確かな学力を育みながら、地域に根ざした学習内容の充実を図ります。

【重要業績評価指標（KPI）】

| 指標名 | 基準値（H30年度or R元年度） | 令和2年度実績値 | 目標値（令和5年度） | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| 藤井寺市学校施設改修（早期耐震化）計画耐震化率 | 100% | 100% | 100% | ◎目標値達成 | 計画通り目標を達成済み。 |
| 全国学力学習状況調査の自己肯定感の回答率（質問項目：自分には良いところがあると思う） | 小：77.1%<br>中：64.8% | ― | 小：85.0%<br>中：75.0% | ― | 新型コロナウイルス感染症の影響により調査が実施されず。 |
| 学校を支援する地域の社会人指導者による事業件数 | 814件 | 985件 | 1,200件 | 〇計画通り | 新型コロナウイルス感染症の影響により、業務量の分散に対応するとともに、質の高い指導を維持するため、積極的な活用を行った。 |
| 放課後児童会の待機児童数 | 17人 | 0人 | 0人 | 〇計画通り | 教室の増設及び指導員の増員により、定員を拡大したため。 |

施策の内容に対する実施評価

| 施策の内容①（PLAN） | | | 学校施設・設備の整備 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 外壁、内装、屋上防水などの学校施設の改修 | 担当部署 | 教育総務課 |
| | | 概要・実績 | 道明寺東小学校１号棟屋上防水改修を実施<br>（当初予定していた藤井寺北小学校プールシート防水改修については、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度執行となった。） | | |
| | 2 | 事業名 | トイレの洋式化・乾式化 | 担当部署 | 教育総務課 |
| | | 概要・実績 | ・道明寺東小学校　トイレ改修工事１期<br>・第三中学校　　トイレ改修工事１期 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | 藤井寺北小学校プールシート防水改修は新型コロナウィルスの影響で事業停止したが、令和3年度で予算化し、執行予定となっている。それ以外の改修は計画通り執行することができた。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 令和3年度からは藤井寺市公共施設保全計画に沿った整備を進め、教育環境の改善に努める。学校施設等整備実行計画は改修内容のメニュー出しとして取り扱う。 | | |

| 施策の内容②（PLAN） | 確かな学力の育成 | | |
|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） 1 事業名 | 学力向上推進支援事業の実施 | 担当部署 | 学校教育課 |
| 1 概要・実績 | 各校において、有識者を招いての授業研究を行い、教職員の授業力を向上を図り、児童生徒の学力向上に取り組んだ。 | | |
| 2 事業名 | 国際理解教育の充実 | 担当部署 | 学校教育課 |
| 2 概要・実績 | 各小中学校にALTを配置し、国際理解教育、外国語活動、英語教育の充実に取り組んだ。 | | |
| 3 事業名 | ICT環境の整備 | 担当部署 | 学校教育課 |
| 3 概要・実績 | 各小中学校でタブレット端末を活用した、個別最適化学習、協働学習と、探求的な学習をスタートさせた。 | | |
| 4 事業名 | 食育の推進 | 担当部署 | 学校教育課 |
| 4 概要・実績 | 栄養教諭による食育訪問指導「朝食の大切さ」を実施する。また、食物アレルギー対応ガイドラインに基づき、児童生徒へのきめ細やかな配慮と、家庭との連携を密にし、重大事態を引き起こさせないような学校における体制（未然防止・緊急時の対応等）を作り、取り組んだ。<br>令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から実施を見送った。 | | |
| 5 事業名 | キャリア教育の推進 | 担当部署 | 学校教育課 |
| 5 概要・実績 | 藤井寺市にゆかりのある、夢を持つことの素晴らしさを伝えるメッセージを持っておられる方を講師として招いて、児童が、「夢を持つこと」の素晴らしさや、将来に向けて「今学ぶこと」への興味・関心を高め、自分の夢に向かって日々の生活を見つめ、児童の自己実現・自己肯定感を育む機会として実施する。<br>令和2年度は、実施日程によっては、新型コロナウイルス感染拡大のため、集会ができない状態となり、中止にした場合もあった。 | | |
| 評価（CHECK） | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| 評価理由・課題 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業実施ができなかった部分もあるが、各校でできる限りの取り組みを行うことができた。新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、取り組みを継続していく必要がある。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | 引き続き市内児童生徒の学力の状況を注視し、教員の授業力向上に努め、市内児童生徒の学力向上に取り組む。 | | |

| 施策の内容③（PLAN） | 体験・交流活動の推進 | | |
|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） 1 事業名 | 市ゆかりの人材による教育活動の実施 | 担当部署 | 学校教育課 |
| 1 概要・実績 | 外部指導者が市内各幼稚園・小学校・中学校で様々な教育活動支援を展開する。外部指導者を市内全幼稚園、小・中学校へ招き、各教科や総合的な学習、道徳などの授業やクラブ活動において専門的な指導を行った。令和2年度はのべ81回実施した。 | | |
| 2 事業名 | 農業体験 | 担当部署 | 学校教育課 |
| 2 概要・実績 | 地域の畑や田に行って、作付、収穫等の体験をさせていただく。<br>令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。 | | |
| 評価（CHECK） | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| 評価理由・課題 | 新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったものがあった。<br>課題としては、地域の協力を継続して得るための仕組み作りが必要である。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | 豊かな教育を実施するため、今後も地域の力を借りながら、各校において実施していく。 | | |

| 施策の内容④（PLAN） | | | 子どもの居場所づくりの推進 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 放課後児童会の充実 | 担当部署 | 生涯学習課 |
| | | 概要・実績 | 放課後児童会事業における待機児童解消のため、教室の増設や指導員の増員を図り、待機児童の解消を図ることができた。 | | |
| | 2 | 事業名 | 放課後子ども教室推進事業の拡充 | 担当部署 | 生涯学習課 |
| | | 概要・実績 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、市内各小・中学校において年度当初に実施計画を立てていたが、規模の縮小や実施回数を減らすなど、感染症対策を講じての実施となった。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | 放課後児童会については、教室の増設や指導員の増員が図ることができ、待機児童を生じさせることなく運営することができた。しかし、放課後子ども教室については新型コロナウイルス感染症の影響により、実施することができなかった学校もあったため、感染症対策を講じつつ、事業実施できるよう検討していく。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 今後も待機児童が生じないよう、利用ニーズを注視し、実施場所や指導員の確保について関係各所と協議していく。また、放課後子ども教室においても、感染状況を注視しつつ、令和2年度の感染傾向を参考にし、より感染症対策を講じての各事業の実施スケジュールや体制を計画していく。 | | |

| 施策の内容⑤（PLAN） | | | 歴史文化資産を活用した教育の推進 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 歴史文化資産を活かした授業や体験学習の実施 | 担当部署 | 文化財保護課 |
| | | 概要・実績 | 市立道明寺南小学校3年生の地域の学習に文化財保護課職員を派遣し、民具等の説明を行った。 | | |
| | 2 | 事業名 | 「世界遺産学習」の実施 | 担当部署 | 文化財保護課 |
| | | 概要・実績 | 市内の各小学校6年生の世界遺産学習について、例年、文化財保護課職員を派遣し、授業を行ってきたが、令和2年度は、コロナ禍のため、藤井寺小学校を除き、中止となった。古墳をめぐるフィールドワークも実施が見送られた。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | 市内の各小学校の世界遺産学習等の文化財保護課職員の授業は、一部実施できたものもあったが、コロナ禍のため、ほとんどが中止となった。今後とも、コロナ禍の状況を勘案しつつ、事業実施の可否について検討する必要がある。また、世界遺産学習について、市内の中学校においても取組を検討する必要がある。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 市内の各学校への歴史文化資産を活用した授業については、コロナ禍の状況を十分に勘案しつつ、実施可能となった場合は、積極的に各種事業・取組を推進していく。 | | |

| 施策の内容6（PLAN） | 教育的支援の充実 | | |
|---|---|---|---|
| 主な取組（DO）1 事業名 | 適応指導教室の実施 | 担当部署 | 学校教育課 |
| 1 概要・実績 | 指導員1名、指導協力員3名を配置し、市民総合会館別館で、月・火・木・金曜日に適応指導教室（ウィング）を開設する。不登校傾向にある児童・生徒の指導・支援にあたり、心の居場所を提供するとともに学校復帰に向けた取組を推進する。<br>心理的又は情緒的な原因によって登校できない児童・生徒に対して、午前中は学習、午後はゲーム等、集団への適応を促す活動を中心に活動し、学校生活への復帰を支援した。<br>また、年に2回、保護者と指導員が懇談を行い、保護者の思いや意見などを聞き、家庭との連携を深めた。 | | |
| 2 事業名 | スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる活動の充実 | 担当部署 | 学校教育課 |
| 2 概要・実績 | 各中学校区にスクールカウンセラー（SC）を各1名ずつ配置し、子ども、保護者、教員へのカウンセリング業務に当たっている。また、学校のケース会議等に参加し、心理士としての見立てからの助言を行っている。また、市内２名のスクールソーシャルワーカー（SSW）が、各校における生徒指導上の課題を抱えた子どもや家庭に対して、アセスメントし、学校の取り組みの助言を行う。 | | |
| 3 事業名 | 「いじめ防止基本方針」に基づくいじめ防止対策の推進 | 担当部署 | 学校教育課 |
| 3 概要・実績 | 各学校においては、学期ごとに「いじめアンケート」を実施し、児童生徒の状況を確認している。また、アンケート実施後個人面談を行い、その結果を教職員で共有し、いじめ（疑いも含む）を認知した場合は校内のいじめ対策委員会を開催し組織的に対応するなど未然防止と早期発見、早期対応に努めている。また、いじめ防止対策指導員を学校に派遣し、いじめ問題に関する指導・助言を行い、いじめ問題の根絶に向けた組織的な対応ができるよう支援・指導する。<br>いじめ（疑いも含む）を認知した場合は校内のいじめ対策委員会を開催し組織的に対応し、いじめの未然防止と早期発見、早期対応に役立てた。また、市内全小中学校に対し各学期1回以上の訪問を実施し、各校におけるいじめ防止の取組やいじめ認知状況を確認し、必要に応じた助言を行った。 | | |
| 評価（CHECK） | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| 評価理由・課題 | 全ての項目で、概ね取り組みを進めることができ、成果を上げることができた。ただ、取り組みの範囲の拡大やさらなる充実を図る必要があり、より個別のケースに合わせた丁寧な取り組みが必要。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | 教育的支援の充実は、子どもたち抱えている課題が多種多様になる中、益々重要になってきている。今後も、市としての人的面での体制を強化し、教育的支援の充実を図っていく。 | | |

## 戦略プロジェクト1-3　ワーク・ライフ・バランスの推進

【プロジェクトの概要】

〇子育て中の方が、安心して働ける職場環境を目指し、働く方の意識啓発を推進します。
〇仕事と生活の両立を目指し、元気に働き、健康に生活する習慣をＰＲします。
〇誰もが「ワーク・ライフ・バランス」を理解し、実践する社会の実現を目指します。
〇多様な分野で女性がいきいきと活躍できるよう、働き続けるための必要な環境整備を行います。

【重要業績評価指標（KPI）】

| 指標名 | 基準値（H30年度or R元年度） | 令和2年度実績値 | 目標値（令和5年度） | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| ワーク・ライフ・バランスに関する講演会、講座等の実施回数 | 2回 | 1回 | 5回 | ×下降 | 新型コロナウイルス感染症の影響により事業数が減少したため。 |

【施策の内容に対する実施評価】

| 施策の内容①（PLAN） | | | ワーク・ライフ・バランスの普及啓発 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | ワーク・ライフ・バランスに関する講演会等の開催 | 担当部署 | 協働人権課 |
| | | 概要・実績 | 女性が仕事と家庭を両立し、家庭生活において自分の時間を有意義なものにするため、仕事以外の時間で優先すべき事項を整理するための方策について学ぶための講座を、インターネットツール「Zoom」方式で実施した。 | | |
| | 2 | 事業名 | 女性の再就職支援の講座の開催 | 担当部署 | 協働人権課 |
| | | 概要・実績 | 事業実績無し | | |
| | 3 | 事業名 | 男性の家事・育児への参加促進 | 担当部署 | 協働人権課 |
| | | 概要・実績 | 固定的な性別役割分担意識により、男性の家庭参加への機会が損なわれ、女性の社会進出の機会が奪われているという問題提起と、問題の解消に向けた啓発記事を広報紙に掲載した。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | ワーク・ライフ・バランスに関する人々の意識が、今なお低いという課題がある。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 男女がともに働きやすく、仕事と子育て・家庭生活等が両立できる社会の実現に向けて、あらゆる人に参加してもらえるワーク・ライフ・バランスに関する講座を開催するなど、効果的な啓発手法を研究し、取り組みを推進する。 | | |

| 施策の内容②（PLAN） | | | 企業の取組支援 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 企業への啓発の推進 | 担当部署 | 協働人権課 |
| | | 概要・実績 | あらゆる人が活き活きと働くことができる社会の実現に向けて、ワーク・ライフ・バランスの取組を充実させるために、企業との協働を推進していくことを明記した男女共同参画のための藤井寺市行動計画を策定した。 | | |
| | 2 | 事業名 | 企業内研修会の支援 | 担当部署 | 協働人権課 |
| | | 概要・実績 | 本市人権のまちづくり協会と協働し、ワーク・ライフ・バランスに関する情報や教材を収集し、市内事業所に対して提供する事業を行った。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | ワーク・ライフ・バランスに対する企業の理解や認識が、今なお不十分である。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 仕事と子育て・家庭生活等を両立させるための社会の実現に向けて、ワーク・ライフ・バランスに対する企業の理解や認識を深めるために、効果的な啓発手法を研究し、支援の充実を図る。 | | |

# 基本目標2　都市の魅力を創出・発信し、賑わいを高める

【数値目標】

| 指標名 | 基準値（H30年度or R元年度） | 令和2年度実績値 | 目標値（令和5年度） | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市のイメージアップと個性あるまちづくりに満足していると答えた市民の割合 | 17.0%（H30年度） | ― | 30% | ― | 総合計画策定時のアンケート調査結果のため、単年度では測定不可。 |
| 宿泊業・飲食サービス業の事業所及び従業者数 | 事業所数426か所 従業者数2,791人 | ― | 事業所数増加 従業者数増加 | ― | 経済センサス統計調査により算出（最新H28） |

## 戦略プロジェクト2-1　世界文化遺産関連施策の推進

【プロジェクトの概要】

〇百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録を契機として、広域的な連携も図りながら、様々な媒体を通じた情報発信やイベント等の実施を積極的に展開します。
〇古市古墳群を本市の貴重な歴史資産として保全・活用するとともに、緑豊かな歴史を感じられるまちとして、より一層魅力を高めていくため、古墳と調和した周辺市街地の景観形成に取り組みます。

【重要業績評価指標（KPI）】

| 指標名 | 基準値（H30年度or R元年度） | 令和2年度実績値 | 目標値（令和5年度） | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| ガイダンス施設「まほらしろやま」への来訪者数 | 16,425人 | 19,379人 | 20,000人 | 〇計画通り | 古市古墳群の世界遺産登録により、来訪者が増加したため。 |

【施策の内容に対する実施評価】

| 施策の内容①（PLAN） | | | 世界文化遺産登録を契機としたプロモーション活動の推進 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 来訪者への案内の充実 | 担当部署 | 観光課、文化財保護課 |
| | | 概要・実績 | ・観光ボランティアの会による市内観光案内への支援を実施した。<br>・市観光協会HPを来訪者が見やすいよう情報を整理し、デザインを変更した。<br>・アイセルシュラホール来場者への案内<br>展示室をご覧になっている方、もず・ふるカード等での来訪者へは積極的に声かけや、どちらからお越しになったのか尋ねる等により、コミュニケーションを図っている。 | | |
| | 2 | 事業名 | 様々な媒体を活用した情報発信 | 担当部署 | 観光課、文化財保護課 |
| | | 概要・実績 | ・YouTubeによる動画配信や、facebook、市ホームページによる情報発信<br>・双方向ライブ配信アプリ「17LIVE」で市内の世界遺産の紹介を実施 | | |
| | 3 | 事業名 | イベント・シンポジウムの開催 | 担当部署 | 観光課、文化財保護課 |
| | | 概要・実績 | ・世界遺産津堂城山古墳を会場にイベント「ハレマチビヨリ」を3月28日に開催し、物販（19店舗）、ワークショップ（4店舗）が出店した。文化財保護課の勾玉づくり体験学習は雨天で中止となった。午前中は作成キットとパンフレットの配付を行った。<br>・イオン藤井寺ショッピングセンターを会場にイベント「ハレマチビヨリ　mini」を9月中旬から下旬の6日間にて開催し、物販（14店舗）、ワークショップ（1店舗）が出店した。文化財保護課が勾玉づくりの体験学習とパネル展を行った。 | | |
| | 4 | 事業名 | 百舌鳥・古市古墳群に関連する企画展示や特別展示の開催 | 担当部署 | 文化財保護課 |
| | | 概要・実績 | 夏休み期間に、保存活用会議で４者（大阪府・堺市・羽曳野市・藤井寺市）共通の子ども向けパネルを作成し、それに写真パネルを追加した展示をシュラホールで行った。 | | |

| | | |
|---|---|---|
| 評価（CHECK） | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 |
| | 評価理由・課題 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していたイベントが一部中止となるなどしたため。新型コロナウイルス感染症の動向が課題となっている。即時性を持つ媒体でのイベント告知、長期的に発信できる方法を並行していく必要がある。 |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | 引き続き来訪者への案内の充実、新しい情報発信媒体を利用した情報発信の実施、世界遺産を舞台とした各種イベントの実施、企画展示や特別展示などを進める。また、来訪者との触れ合いも、その手法を探るヒントと考える。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 施策の内容②（PLAN） | | | 古市古墳群を学び、周遊し、交流できる環境の整備 | | |
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 百舌鳥・古市古墳群へのアクセスの検討 | 担当部署 | 観光課 |
| | | 概要・実績 | 百舌鳥・古市古墳群におけるカーシェアリングを活用した地域振興連携の実施検討のため、大阪府、堺市、羽曳野市、タイムズモビリティ㈱、近畿日本鉄道㈱、南海電気鉄道㈱、西日本旅客鉄道㈱と連携し、百舌鳥・古市古墳群への交通インフラ強化の施策を令和3年度より実施するための検討を行った。 | | |
| | 2 | 事業名 | バス駐車場・乗降場やトイレ、ガイダンス施設「まほらしろやま」の整備 | 担当部署 | 文化財保護課 |
| | | 概要・実績 | ガイダンス施設「まほらしろやま」は、展示室兼休憩室・トイレを備えており、市民や古市古墳群への来訪者の利用に供するため、年末年始を除く午前9時から午後4時まで開館している。令和2年度は、コロナ禍のため、トイレ以外を休館した時期があった。令和2年度の利用者数は、19,379人であった。 | | |
| | 3 | 事業名 | 案内板や説明版の設置 | 担当部署 | 文化財保護課 |
| | | 概要・実績 | 近鉄バス「大正橋南詰」停留所に（津堂城山古墳前）の記載と車内放送がされることになり、それに合わせて、降車場所からわかる位置に案内板を取り付けるため、NEXCO西日本に許可を得て案内板を取り付けることができた。 | | |
| | 4 | 事業名 | 世界文化遺産登録を記念した新たな配色のデザインマンホール蓋の作製とマンホールカードの作成・配布 | 担当部署 | 下水道総務課 |
| | | 概要・実績 | 世界文化遺産を記念した新たな配色のデザインマンホール蓋を駅南商店街に設置し、令和3年度中に藤井寺小学校付近設置予定。マンホールカードについては、引き続き観光案内所ゆめプラザで配布している。 | | |
| | 5 | 事業名 | もず・ふるカードの作成・配布 | 担当部署 | 文化財保護課 |
| | | 概要・実績 | もず・ふるカードについては、1周年を機に7種類のカードを追加し、構成資産には世界遺産エンブレムも採り入れた。納品が年度末となったので、運用は令和3年4月1日からとした。 | | |
| | 6 | 事業名 | Wi-Fiスポットの整備 | 担当部署 | 文化財保護課 |
| | | 概要・実績 | ガイダンス施設「まほらしろやま」とシュラホール、図書館にWi-Fiスポットを設置している。 | | |
| | 7 | 事業名 | VR等の映像コンテンツの効果的な活用 | 担当部署 | 文化財保護課 |
| | | 概要・実績 | 文化庁、大阪府の補助金を活用し、藤井寺市地域文化遺産活性化実行委員会により4本の動画を作成した。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | 当初の計画では、令和2年度当初にカーシェアリングを活用した事業実施の予定であったが、新型コロナウイルスの影響により事業実施時期がずれこんだ。また、世界遺産のガイダンス施設「まほらしろやま」の老朽化が進んでおり、来訪者に快適に利用いただくためにも、展示内容の見直しを含めた、全体的な改修計画を検討する必要がある | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 令和3年中に「百舌鳥・古市古墳群におけるカーシェアリングを活用した地域振興連携事業」をスタート（時期は新型コロナウイルスの影響で延期の可能性あり）させること、ガイダンス施設「まほらしろやま」の、展示内容の見直しを含めた、全体的な改修計画の検討を進めること、補助金を活用してWi-Fiスポットを増加させていくこと、YouTubeによる動画配信を行うこと、もず・ふるカードの配布を来訪者の意見を直接聞ける機会としても活かしていくことなどを進め、古市古墳群を学び、周遊し、交流できる環境を整備していく。 | | |

| 施策の内容③（PLAN） | 古市古墳群の保存・活用 | | |
|---|---|---|---|
| 主な取組（DO）1 事業名 | 史跡古市古墳群整備検討委員会の運営 | 担当部署 | 文化財保護課 |
| 1 概要・実績 | 古市古墳群の保存・活用の主な取組については、史跡古市古墳群整備検討委員会に諮り、指導助言を得て実施した。なお、令和2年度は、コロナ禍のため、委員会は書面での開催となった。 | | |
| 2 事業名 | 国史跡古市古墳群保存活用計画の策定 | 担当部署 | 文化財保護課 |
| 2 概要・実績 | 当初、令和2・3年度で策定予定であったが、コロナ禍の影響で、令和3・4年度での策定に延期になった。 | | |
| 3 事業名 | 世界文化遺産登録をふまえた史跡整備の推進 | 担当部署 | 文化財保護課 |
| 3 概要・実績 | 令和2年度は、城山古墳528㎡と応神天皇陵古墳外濠外堤76.28㎡の史跡指定地を公有化し、保護を推進することができた。また、仲姫命陵古墳の第三種地区の一部について、仲姫命陵古墳周堤として、史跡古市古墳群へ追加指定を行った。そして、史跡古市古墳群整備基本計画（第1次）により、城山古墳の墳丘土の流失している箇所を土のうと植生シートで覆い、さらなる墳丘の損壊を防ぐ緊急整備を実施した。唐櫃山古墳については、史跡整備のデータを得るための確認調査を実施した。 | | |
| 4 事業名 | トイレ等便益施設の整備 | 担当部署 | 文化財保護課 |
| 4 概要・実績 | 西名阪高速道路の高架下、史跡古市古墳群赤面山古墳の隣接地に、トイレとガイダンス機能を有した便益施設建設計画について、引き続き、NEXCO西日本と実施の協議を行った。 | | |
| 評価（CHECK） | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| 評価理由・課題 | 史跡指定古墳の整備について、令和2年度も史跡古市古墳群の公有化を計画的に進めることができた。また、史跡追加指定については、第三種地区の一部で新たに追加指定を行い、保護を行うことができた。津堂城山古墳の緊急整備に関しては、良好に実施でき、古墳の保護を行うことができた。一方で、国史跡古市古墳群保存活用計画の策定については、コロナ禍の影響で順延となっていることやトイレ等の便益施設建設が西名阪高速道路高架の耐震補強工事後に実施することになっていることで工事が遅延になっているという課題がある。また、史跡古市古墳群整備基本計画（第1次）については、古市古墳群の世界遺産登録によるイコモスの勧告等をふまえ、見直しが必要な部分があると考えられる。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | 引き続き、買上要望をもととし、市として重点的に公有化する必要性や緊急性をふまえて計画的な事業の実施を進めていく。また、第三種地区・史跡周辺地域については、史跡追加指定を含めた積極的な保護を図っていく。<br>国史跡古市古墳群保存活用計画は令和3・4年度で策定し、その後、令和5・6年度で、史跡古市古墳群整備基本計画の見直しを行っていく。<br>その他、西名阪高速道路高架下の便益施設建設については、引き続き、NEXCO西日本と協議を継続していく。 | | |

| 施策の内容④（PLAN） | 古墳群と調和した景観形成の推進 | | |
|---|---|---|---|
| 主な取組（DO）1 事業名 | 古墳と調和した都市景観づくり | 担当部署 | まち建設課 |
| 1 概要・実績 | 葛井寺南大門前地区において歴史的な街なみを整備・保全することにより、歴史を生かした街なみ形成を促進することを目的に街なみ環境整備事業修景施設整備補助制度を創設した。 | | |
| 2 事業名 | 景観アドバイザー制度の活用 | 担当部署 | 都市計画課 |
| 2 概要・実績 | 認定件数12件、届出件数6件に対して指導を実施、アドバイザー会議を4回開催した。 | | |
| 3 事業名 | 屋外広告物の適正化に向けた啓発活動 | 担当部署 | 都市計画課 |
| 3 概要・実績 | 掲出広告の適正化に向けて、事業者等への個別訪問を行う等の取り組みを実施した。<br>不適格物件の適正化（13件） | | |
| 評価（CHECK） | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| 評価理由・課題 | 現在、良好な景観形成を推進する施策を展開しているが、景観形成は民間主体で50年程度を要するものであり、まだまだ道半ばである。また、修景補助制度を創設することはできたが、活用実績はなし。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | 古墳群と調和した良好な都市景観の形成を推進するため、景観認定・届出制度を活用し、一定規模以上は景観アドバイザーからの助言をもとに認定・届出事務を行い、古墳群等と調和を図りながら、一体的な都市景観づくりを進めていく。また、啓発事業として景観コンテスト、セミナーなどの検討を進めていく。補助制度については、内容の拡充を図り、制度の活用を促し、歴史的な街並み形成の促進を図る。 | | |

## 戦略プロジェクト2-2　シティプロモーションによる魅力発信

【プロジェクトの概要】

〇本市の知名度やイメージ、ブランド力を高め、「訪れたい」「住みたい」と選ばれるまちとなるよう戦略的なプロモーションを推進します。
〇本市の地域資源を活かした様々なプロモーション・ＰＲ活動を通じ、市内外に積極的に魅力を発信します。

【重要業績評価指標（KPI）】

| 指標名 | 基準値（H30年度or R元年度） | 令和2年度実績値 | 目標値（令和5年度） | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市ホームページのアクセス件数 | 677,157件（H30年度） | 1,666,248件 | 785,000件 | 〇計画通り | コロナ関連情報へのアクセス数の増、LINE公式アカウントのリニューアル（HPの最新情報へ容易にリンクできるよう、毎週のメッセージ配信を開始）、トップページの改修（スライダー写真とfacebookの埋め込みを実施）による。 |
| 市プロモーションサイトへのアクセス件数 | 4,103件（H30年度） | 4,249件（見込値） | 7,200件 | △横ばい | 令和3年3月実績よりの推定値（令和元年12月～令和3年2月までの期間、分析ツールの不具合等により数値算出できず） |
| 「#フジイデライク」への総投稿数 | 3,395件（H30年度） | 10,168件 | 11,000件 | 〇計画通り | 各イベント等においての積極的な広報活動によりフォロワー数が増加したことによる。 |

【施策の内容に対する実施評価】

| 施策の内容①（PLAN） | | | シティプロモーション戦略の推進 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 観光プロモーション活動の展開 | 担当部署 | 観光課 |
| | | 概要・実績 | 藤井寺市の隠れた観光名所や魅力を市民自らが発見・投稿し、その内容をもとに観光サイトを制作する企画「観光難易度A級シティフジイデラ」を実施した。 | | |
| | 2 | 事業名 | プロモーションサイト「なかなかのまちなか藤井寺」を活用した情報発信 | 担当部署 | 観光課 |
| | | 概要・実績 | インスタグラム「フジイデライク」にて、藤井寺市の情報を積極的に投稿していただいている「フジイデララバー」による「観光難易度A級シティフジイデラ」利用レポートを作成し、シティプロモーションサイトに掲載した。 | | |
| | 3 | 事業名 | デザインコンセプトやキャッチコピー・ロゴの活用 | 担当部署 | 観光課 |
| | | 概要・実績 | 名刺、名札ストラップ、チラシ、ポスター、ニュースリリース用のひな型等に「なかなかのまちなか藤井寺」のキャッチコピーと統一デザインを使用した。 | | |
| | 4 | 事業名 | 世界文化遺産登録を活かしたまちの魅力の発信 | 担当部署 | 観光課 |
| | | 概要・実績 | 世界文化遺産の構成資産である津堂城山古墳を会場にイベント「ハレマチビヨリ」を実施し、ワークショップを通じてまちの魅力を発信した。 | | |
| | 5 | 事業名 | SNSの効果的な活用や藤井寺ファンづくり | 担当部署 | 観光課 |
| | | 概要・実績 | インスタグラム「フジイデライク」を活用した「藤井寺ファン」づくりとして、「フジイデララバー」を7名追加認定した。 | | |
| | 3 | 事業名 | ターゲットを想定したイメージ戦略 | 担当部署 | 観光課 |
| | | 概要・実績 | ターゲットである「沿線に住む30代女性」を対象としたプロモーションサイト「なかなかのまちなか藤井寺」において、藤井寺市の隠れた観光名所や魅力を市民自らが発見・投稿し、その内容をもとに観光サイトを制作する企画「観光難易度A級シティフジイデラ」を実施し、藤井寺市の魅力を効果的に訴求した。 | | |

| | | |
|---|---|---|
| 評価（CHECK） | | ＜A＞ 計画通り進行 |
| | 評価理由・課題 | 藤井寺市の歴史、文化などの地域の魅力を発掘し、それを磨きあげてPRする企画が実施できた。 |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | 引き続き、歴史、文化などの地域資源や魅力を発掘、創出し、様々なプロモーション活動を継続して実施していく。また、インスタグラムを活用した「藤井寺ファン」づくりを実施していく。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 施策の内容②（PLAN） | | | シティプロモーション活動の展開 | | |
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | マスコミや情報誌、ソーシャルメディア等の広報ツールを活用したプロモーションの推進 | 担当部署 | 政策推進課、秘書広報課、観光課 |
| | | 概要・実績 | 新聞や雑誌等の各種メディアに積極的に情報発信し、多方面で市内外に市政情報をPRするため、「プレス等提供にかかる実施要領」を策定し、庁内で積極的なニュースリリースを行うための土台作りを行った。また、ホームページのトップページを改修し、スライダー写真とfacebookの埋め込みを実施した。その他、令和2年7月末から「藤井寺市LINE公式アカウント」としてリニューアルを実施した。 | | |
| | 2 | 事業名 | 市民、民間事業者や関連自治体等との協働によるプロモーションの推進 | 担当部署 | 政策推進課、観光課 |
| | | 概要・実績 | ・公民連携によるプロモーション<br>公民連携事業を積極的に進め、連携した民間事業の情報発信力を生かしながら、市政情報のプロモーションを図った。<br>・フジイデララバーを活かしたプロモーション<br>インスタグラム「フジイデライク」を活用した「藤井寺ファン」づくりとして、「フジイデララバー」を7名追加認定した。<br>・「観光難易度A級シティフジイデラ」の実施<br>藤井寺観光は、見どころがちょっと難しいということをテーマに、市民等から観光スポットを募集し、市民などと協働による観光地認定を実施し、その様子をライブ配信した。 | | |
| | 3 | 事業名 | ふるさと納税の強化 | 担当部署 | 政策推進課 |
| | | 概要・実績 | ・ガバメントクラウドファンディングの導入<br>市のプロジェクトの対外的なPR及び資金調達のためガバメントクラウドファンディングの導入した。令和2年度は、コロナ禍におけるマスクや消毒液調達のための資金調達のために実施し、1,087,000円の寄附をいただいた。また、本プロジェクトを通じて約130万枚のマスクの寄附を受けることができた。<br>・企業版ふるさと納税の導入<br>市の地方創生関連事業の推進における資金調達の手法を広げるため、企業版ふるさと納税の導入に向けた申請を実施。受入可能になるのは令和3年度からの予定。 | | |
| | 4 | 事業名 | ご当地ナンバープレートの導入 | 担当部署 | 税務課 |
| | | 概要・実績 | 令和2年9月からご当地ナンバープレートの導入を開始した。 | | |
| | 5 | 事業名 | 市長や職員によるセールス活動の推進 | 担当部署 | 政策推進課、秘書広報課、観光課 |
| | | 概要・実績 | シティセールスの取組や手法を普及促進させる職員を配置し、全職員がシティセールスマンとなるよう、また公民連携による話題作りや連携する民間が保有する情報発信コンテンツを生かしたPRができるよう各部署にシティセールスリーダーを設置するための要綱を策定した。そのほか、プレスへの情報提供テンプレートの一新などを行った。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | シティセールスを進めるため、「プレス等提供にかかる実施要領」や「シティセールスリーダー設置要綱」を策定し、戦略的な情報発信の仕組みを整えたが、年度内に本格実施にまでは至らなかった。市民や民間企業、関係機関などとの協働によるプロモーションの推進においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく進めることができなかった部分があったが、コロナ禍に対応した取組推進を図ることもできた。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 引き続き、わかりやすく、伝わる情報発信に努めます。令和2年度で制度化した各種取組を本格実施させ、庁内に普及浸透を図っていく。その取組の中で課題抽出、分析をして市政情報の露出度アップによるシティプロモーションを図っていく。 | | |

## 戦略プロジェクト2-3　まちなか観光の推進

【プロジェクトの概要】
〇本市の魅力資源を多様な視点から発掘し、それらを様々なターゲットに情報発信を行いながら誘客を図ります。また、市内事業者と連携し、地域資源を活かした特産品の開発など新たな商品・サービス展開を推進します。

【重要業績評価指標（KPI）】

| 指標名 | 基準値（H30年度or R元年度） | 令和2年度実績値 | 目標値（令和5年度） | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観光案内所来館者数 | 10,680人 | 7,390人 | 14,400人 | ×下降 | 新型コロナウィルス感染症対策として、令和2年4～6月の期間閉館したため。 |
| 観光ウェブサイトのアクセス件数 | 57,296件 | 62,805件 | 84,000件 | 〇計画通り | 観光協会のホームページを改修したため。（デザイン、階層等） |

【施策の内容に対する実施評価】

| 施策の内容①（PLAN） | | | 魅力ある観光コンテンツづくりの推進 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | まちなか観光プログラムの開発 | 担当部署 | 観光課 |
| | | 概要・実績 | 世界遺産となった古市古墳群と六社寺（道明寺、道明寺天満宮、辛國神社、伴林氏神社、誉田八幡宮）といった観光資源を少人数で周遊する古市古墳群と六社寺巡りを実施（観光協会事業）し、観光コンテンツの推進を行った。 | | |
| | 2 | 事業名 | 地域資源を活かしたイベントの開催 | 担当部署 | 観光課 |
| | | 概要・実績 | ・世界遺産津堂城山古墳が会場のイベント「ハレマチビヨリ」の実施<br>3月28日に実施し、物販（19店舗）、ワークショップ（4店舗）が出店した。<br>・イオンを会場にイベント「ハレマチビヨリ　mini」の実施<br>9月中旬から下旬の6日間にて実施し、物販（14店舗）、ワークショップ（1店舗）が出店した。 | | |
| | 3 | 事業名 | 観光資源を巡るツアーの実施 | 担当部署 | 観光課 |
| | | 概要・実績 | 藤井寺市の隠れた観光名所や魅力を市民自らが発見・投稿し、その内容をもとに観光サイトを制作する企画「観光難易度A級シティフジイデラ」を実施した。その中で、コロナ禍における少人数でのマイクロツーリズムの推進のため、ネット上で独自の観光ツアーを組んで、地元の方が友達を誘って、藤井寺市を巡る仕組みを構築した。 | | |
| | 4 | 事業名 | ガイドツアー・講座等の充実 | 担当部署 | 観光課 |
| | | 概要・実績 | 観光ボランティアの会が主催する藤井寺市の歴史、文化を学習する「郷土の歴史講座」実施への支援や、市内観光ガイドの実施への支援を行った。 | | |
| | 5 | 事業名 | 市民や地元事業者、関係団体等が主体となった観光まちづくりの推進 | 担当部署 | 観光課 |
| | | 概要・実績 | 市民や地元事業者、関係団体等が主体となり、新型コロナウイルスの影響で沈んだまちのにぎわいを少しでも活性化させる事業として、クラウドファンディングにて市内飲食店を支援する「さきめし藤井寺プロジェクト」や「老若男女にわかりやすく親しみやすい、藤井寺市を元気づける歌」をテーマに募集した「藤井寺応援ソングプロジェクト」を実施した。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | | 評価理由・課題 | 開催可能なイベントは実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業が中止となったこと、また、感染症の影響により、アイセルシュラホール関連事業の執行が見送りとなった。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 世界遺産の古市古墳群を巡る「古市古墳群ロゲイニング」を羽曳野市と連携して実施することやアイセルシュラホールを市内観光周遊の拠点とすべく事業を実施することで、観光コンテンツづくりを進める。 | | |

| 施策の内容②（PLAN） | | | 「食」の魅力向上、特産品の開発・販売促進 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 「FRAP」等を通じた「食」にまつわる地域資源の活用による、飲食店の魅力向上・情報発信 | 担当部署 | 観光課 |
| | | 概要・実績 | ・Fujiidera-Eatsプロジェクトの実施<br>コロナ禍により、藤井寺市内のテイクアウト、デリバリーが可能な「こだわり」をもつ飲食店情報をまとめて掲載、SNSでの発信をした。また市庁舎で販売を通じ「こだわりの味」を市民に知ってもらう機会を設けた。その他、プロジェクト内容を掲載した情報誌を市民、近隣市（松原市、羽曳野市）住民に対して送付し、Fujiidera-Eatsプロジェクトについての情報発信を実施した。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜A＞ 計画通り進行 | | |
| | 評価理由・課題 | | 市内の飲食店についての情報収集、情報発信に始まり、コロナ禍の中でも実際に市民の方に味を知ってもらう機会を作ることができ、近隣市の方にも情報発信を直接行うことが出来た。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 掲載店舗を積極的に募集し、Fujiidera-Eatsプロジェクトを拡大していく。 | | |

| 施策の内容③（PLAN） | | | 観光振興を担う人材の育成 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 観光コンテンツを開発する場づくり | 担当部署 | 観光課 |
| | | 概要・実績 | 「観光難易度A級シティフジイデラ」の中で、市民自らが「隠れた市内の観光名所」といった藤井寺市の観光コンテンツとなりうる情報を投稿できる場を設け、それらの情報をもとに観光客自らが観光コースを選択できる観光サイトを開発した。 | | |
| | 2 | 事業名 | 観光振興を担う人材の育成 | 担当部署 | 観光課 |
| | | 概要・実績 | 観光ボランティアの会が行う観光ガイド育成事業への支援を実施した。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜A＞ 計画通り進行 | | |
| | 評価理由・課題 | | 市民が自ら観光コンテンツン開発に携わる機会を設けることができ、観光ガイド育成事業の支援も実施できた。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 「観光難易度A級シティフジイデラ」の取り組みを拡大し、さらなるマイクロツーリズムの浸透を進める。また、引き続き、観光ボランティアの会が行う観光ガイド育成事業への支援を実施する。 | | |

| 施策の内容④（PLAN） | 来訪者の利便性向上 | | | |
|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） 1 | 事業名 | 観光アプリや市のプロモーションサイト、SNS等の情報媒体の効果的な活用 | 担当部署 | 観光課 |
| | 概要・実績 | ・各種サイト、SNSでの積極的な情報発信の実施<br>・市観光協会HPの改修の実施<br>来訪者が見やすいよう情報を整理し、デザインを変更した。 | | |
| 2 | 事業名 | 観光案内所等の情報発信拠点の整備及び機能強化 | 担当部署 | 観光課 |
| | 概要・実績 | 観光案内所（ゆめぷらざ）の観光情報を常に更新し、情報発信拠点としての機能強化を実施した。 | | |
| 3 | 事業名 | 観光資源への円滑な誘導 | 担当部署 | 観光課 |
| | 概要・実績 | より円滑な観光資源への誘導のため、市観光協会HPおよび道明寺駅駅前看板のデザインをリニューアルした。 | | |
| 4 | 事業名 | シャアサイクル事業などの二次交通の充実 | 担当部署 | 観光課 |
| | 概要・実績 | 令和2年度中に事業の進め方の検討を行ったが、実施には至らなかった。 | | |
| 評価（CHECK） | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | | |
| 評価理由・課題 | 情報発信は積極的に実施できたが、シェアサイクル事業を実施することが出来なかった。 | | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | 引き続き、各種媒体において情報発信を積極的に実施していく。また、市観光協会ホームページの多言語化を行う。 | | | |

| 施策の内容⑤（PLAN） | 近隣自治体、民間事業者、教育機関等との連携 | | | |
|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） 1 | 事業名 | 広域での観光キャンペーンの実施 | 担当部署 | 観光課 |
| | 概要・実績 | ・南河内における観光推進<br>南河内地区自治体や鉄道会社との観光協議会「華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会」でのコロナ禍での観光振興について協議した。<br>・古市古墳群の活性化<br>藤井寺市観光協会、藤井寺市商工会、羽曳野市観光協会、羽曳野市商工会の四者で古市古墳群の活性化に関する連携協定を締結した。 | | |
| 2 | 事業名 | 鉄道会社との連携によるイベント実施 | 担当部署 | 観光課 |
| | 概要・実績 | 近畿日本鉄道㈱と連携し、「（仮称）世界遺産古市古墳群ロゲイニング」実施に向けた検討を行った。 | | |
| 3 | 事業名 | 大学との連携による観光まちづくりの推進 | 担当部署 | 観光課 |
| | 概要・実績 | 四天王寺大学との連携によるインターンシップ生の受け入れを行い、学生目線による本市の観光まちづくりについての提案を得た。 | | |
| 評価（CHECK） | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | | |
| 評価理由・課題 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、協議は実施できたものの、令和2年度中に事業を実施することができなかった。 | | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | 華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会で観光スポットラリー、物産市などの各種事業を広域で実施していく。<br>藤井寺市観光協会、藤井寺市商工会、羽曳野市観光協会、羽曳野市商工会の四者の連携協定の中で、近畿日本鉄道㈱と連携したイベント「（仮称）世界遺産古市古墳群ロゲイニング」を実施する。 | | | |

## 戦略プロジェクト2-4　中心市街地におけるにぎわいの創出

【プロジェクトの概要】

〇本市に３駅ある鉄道駅は、都市としての顔であるとともに、その周辺地域は、都市の拠点となる市街地を形成しています。この駅周辺地域の資源を活用しつつ、魅力とにぎわいのある都市拠点として、市民との協働により、ハード・ソフト両面から活性化を図ります。

【重要業績評価指標（KPI）】

| 指標名 | 基準値（H30年度or R元年度） | 令和2年度実績値 | 目標値（令和5年度） | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市内駅乗降客数（3駅合計） | 49,729人 | ― | 増加 | ― | 令和2年度の人数がカウントされていないため、不明。 |

【施策の内容に対する実施評価】

| 施策の内容①（PLAN） | | | 駅を中心としたふれあいとにぎわいのあるまちづくり | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | まちの魅力やまちづくりの情報発信支援 | 担当部署 | 政策推進課 |
| | | 概要・実績 | 藤井寺駅前の大型商業施設を情報発信の拠点とし、市が独自利用できるデジタルサイネージやパンフレットラック、掲示板等を設置し、市や各種団体の情報発信を可能とした。そのほか、商業施設の情報発信力を活かした連携事業の取り組みも実施している。 | | |
| | 2 | 事業名 | 市民協働による「楽しめ・にぎわい・交流できる」イベントなどの実施 | 担当部署 | 観光課 |
| | | 概要・実績 | 9月中旬から下旬の6日間にて、イオンモールと連携し「ハレマチビヨリ　mini」を実施した。物販（14店舗）、ワークショップ（1店舗）を出店した。 | | |
| | 3 | 事業名 | 商業機能の強化 | 担当部署 | 観光課、商工労働課 |
| | | 概要・実績 | 駅を中心とした多様な専門店の集積や界隈性の強みを活かして、チケットの事前購入にて、飲食店に限らず様々な業種のお店をお得に回れるイベント「デラバル「藤井寺バル～呑み歩きの宴～」」を例年開催しているが、令和2年度はコロナ禍により開催は断念した。しかし、コロナ禍で影響を受けたお店を支援するため、期間限定商品券の購入により、お得にお買い物ができるイベント「店へ、帰ろう！キャンペーン」を市と地元事業者等との協働により、ロングスパンで開催した。 | | |
| | 4 | 事業名 | 民間事業者との連携によるにぎわい交流による活性化事業の実施 | 担当部署 | 政策推進課 |
| | | 概要・実績 | 企業パートナーシップデスクを設置し、民間との連携を図る素地の形成を図った。また、連携協定を締結した藤井寺駅前のイオン藤井寺ショッピングセンターとの連携により、にぎわい創出のため各部署と商業施設とのマッチングを行い、様々な事業を実施している。 | | |
| | 5 | 事業名 | まちなみ環境整備 | 担当部署 | まち建設課 |
| | | 概要・実績 | 葛井寺南大門前地区において歴史的な街なみを整備・保全することにより、歴史を生かした街なみ形成を促進することを目的に街なみ環境整備事業修景施設整備補助制度を創設した。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | まちなみ整備の取組みや開催可能なイベントは実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業が中止となった。情報発信に関しては、民間企業との連携を密にし、コロナ禍における取組を実施することができた。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | コロナ禍における感染状況や社会情勢等を鑑みて、イベントや情報発信によるにぎわいあるまちづくりを推進していく。 | | |

<table>
<tr><td colspan="3">施策の内容②<br>（PLAN）</td><td colspan="3">駅周辺の拠点機能強化</td></tr>
<tr><td rowspan="4">主な取組（DO）</td><td rowspan="2">1</td><td>事業名</td><td>駅周辺地域の緑化や維持管理への支援</td><td>担当部署</td><td>まち建設課</td></tr>
<tr><td>概要<br>・<br>実績</td><td colspan="3">藤井寺駅及び道明寺、土師ノ里駅周辺において、小学校や商店街、各種団体等の協力を得て、色とりどりの花を植樹した。美観の向上とともに地域コミュニティの場をつくることができた。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>事業名</td><td>駅周辺の景観整備及び道明寺周辺の再整備に向けた検討</td><td>担当部署</td><td>都市計画課、まち建設課</td></tr>
<tr><td>概要<br>・<br>実績</td><td colspan="3">・駅周辺の景観整備<br>景観の認定・届出制度を活用して規制誘導を行い、市の玄関口としてふさわしい景観形成や誘導に取り組んだ。<br>・道明寺駅周辺の再整備の検討<br>地域住民の発意により、道明寺駅周辺まち整備協議会が発足した。都市整備推進センターのサポート助成を活用し、勉強会を開催した。</td></tr>
<tr><td colspan="3">評価（CHECK）</td><td colspan="3">＜A＞ 計画通り進行</td></tr>
<tr><td colspan="3">評価理由・課題</td><td colspan="3">景観づくりの推進においては、今後も、建築物の建替え更新が行われるため、継続した対応が必要となる。<br>地元発意による道明寺駅周辺まち整備協議会が令和2年9月に発足され、まちづくりについての意見交換や講師を招いての勉強会の開催等、計画より早い段階で地元住民との話し合いに取り組んだ。</td></tr>
<tr><td colspan="3">令和3年度以降の<br>方向性（ACT）</td><td colspan="3">今後も景観の認定・届出制度を活用し、駅周辺の市の玄関口としてふさわしい景観形成を推進する。<br>引き続き、協議会とワークショップ等勉強会を重ね、整備の方向性や内容等について検討を進めていく。</td></tr>
</table>

## 戦略プロジェクト2-5　地域産業の活性化

【プロジェクトの概要】

〇まちの賑わいを支える商店街活動の活性化を支援するとともに、創業や起業、事業承継に対する支援を充実します。
〇企業をはじめ、民間団体、金融機関、大学等との連携により地域産業の活性化を図り、市内における経済の好循環を創出します。
〇本市の地域特性に応じた都市型農業を推進します。

【重要業績評価指標（KPI）】

| 指標名 | 基準値（H30年度or R元年度） | 令和2年度実績値 | 目標値（令和5年度） | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| 商店街活性化補助制度の年間利用件数 | 2件 | 5件 | 3件 | 〇計画通り | 事業推進やサポートに関する商工会や商店連合会との協働による取り組みを推進することができたため。 |
| 創業支援事業補助制度の年間利用件数 | 4件 | 0件 | 5件 | ×下降 | 新型コロナウイルス感染症の影響により本年度事業未実施であったため。 |
| ふじいでら創業スクールの参加者数（創業支援件数） | 22件 | 0件 | 40件 | ×下降 | 新型コロナウイルス感染症の影響により本年度事業未実施であったため。 |
| 販路開拓支援制度の年間利用件数 | 3件 | 1件 | 5件 | ×下降 | コロナ禍における事業活動の停滞のため。 |

【施策の内容に対する実施評価】

| 施策の内容①（PLAN） | | | 商店街の活性化 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 各種イベントの実施 | 担当部署 | 商工労働課 |
| | | 概要・実績 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込んだ市内消費喚起を目的に実施された市内商店街統一イベントに対し、開催支援を実施した。 | | |
| | 2 | 事業名 | キャッシュレス化への対応 | 担当部署 | 商工労働課 |
| | | 概要・実績 | 統一QRコードの普及促進やキャッシュレス化の図るため、市内事業者に対し説明会及び個別相談会を実施した。 | | |
| | 3 | 事業名 | 商店街事業への支援 | 担当部署 | 商工労働課 |
| | | 概要・実績 | 補助要綱を通じ商店街事業に対し支援を実施した。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | 概ね事業目的を達成できたが、一部新型コロナウイルス感染症の影響により事業内容の変更を余儀なくされた。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | コロナ禍の状況を踏まえ、引き続き商店街活性化やキャッシュレス化推進のための取り組みを進めていく。 | | |

| 施策の内容②（PLAN） | | | 中小企業への支援 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 商工業振興のための計画づくり | 担当部署 | 商工労働課 |
| | | 概要・実績 | ・(仮)商工振興計画の策定<br>コロナウイルス感染症の影響により当初計画を変更し、令和3年度に事業所調査を実施、令和4年度において計画策定を進める。 | | |
| | 2 | 事業名 | 企業の自社製品や技術力などの情報発信 | 担当部署 | 商工労働課 |
| | | 概要・実績 | ふるさと納税制度の返礼品制度を活用し、返礼品及び提供事業者に関する情報を発信した。令和2年度において新たに2事業者を追加し、併せて21事業者、92品目の提供を行っている。 | | |
| | 3 | 事業名 | 販路拡大や市場開拓など企業活動への支援 | 担当部署 | 商工労働課 |
| | | 概要・実績 | 販路開拓やふるさと納税制度を活用した事業者情報発信などの中小企業支援策に加え、コロナ禍における事業者支援を実施した。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | コロナウイルス感染症の影響により、当初計画を変更し、令和3年度に事業所調査を実施し、令和4年度において計画策定を進める。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 当初計画を変更し、令和3年度に事業所調査、令和4年度において計画策定を進める。 | | |

| 施策の内容③（PLAN） | | | 企業、商工会、金融機関、大学等との連携の場づくり | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 産官学金連携体制の推進 | 担当部署 | 商工労働課 |
| | | 概要・実績 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度においては支援機関連携会議を書面にて開催した。 | | |
| | 2 | 事業名 | 市内企業間連携の推進 | 担当部署 | 商工労働課 |
| | | 概要・実績 | 企業間連携を進めていくにあたり、市商工会と意見交換、情報共有を図った。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | 新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画通りには進めることができなかった。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 事業所調査、計画策定を進めるに併せ、事業者連携の場の構築に努めていく。 | | |

| 施策の内容④（PLAN） | | | 創業・起業支援の推進 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 商工会・金融機関等と連携したふじいでら創業スクールや相談窓口の設置、補助制度等による一貫した創業支援の実施 | 担当部署 | 商工労働課 |
| | | 概要・実績 | 創業スクール開催に向け準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催中止とした。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜C＞ 未着手 | | |
| | 評価理由・課題 | | 新型コロナウイルス感染症の影響により創業スクールの開催を見送ったが、これまでの実績を踏まえ、令和3年度以降も継続的に実施していく。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 過去2回開催（平成30年度、令和元年度）の実績を踏まえ、開催方法等についてブラッシュアップし、令和3年度以降も継続的に実施していく。 | | |

| 施策の内容⑤（PLAN） | | | 事業承継支援の推進 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 相談窓口の設置 | 担当部署 | 商工労働課 |
| | | 概要・実績 | 市商工会と連携し、それぞれの窓口において事業承継に関する相談業務を実施。 | | |
| | 2 | 事業名 | 支援事業の展開 | 担当部署 | 商工労働課 |
| | | 概要・実績 | 市商工会においてアンケート調査を実施し、事業者実態の把握を行った。 | | |
| | 3 | 事業名 | 人材マッチング | 担当部署 | 商工労働課 |
| | | 概要・実績 | 未実施 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | 新型コロナウイルス感染症の影響のなか、事業者訪問もままならない状況であったが、事業所アンケートの実施など、一部業務の進捗を図った。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 事業承継にかかる事業者支援展開を、商工会との協力のもと進めていく。 | | |

| 施策の内容⑥（PLAN） | | | 都市型農業の推進 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 特産農作物の開発・生産 | 担当部署 | 農とみどり保全課 |
| | | 概要・実績 | 農作物の栽培方法、病害虫に対する対策等の相談を市内農家から受けることで、農作物の生産の向上に努めている。 | | |
| | 2 | 事業名 | 6次産業化の推進 | 担当部署 | 農とみどり保全課 |
| | | 概要・実績 | 朝市連絡協議会主催の朝市・トラック市を開催することで、農業者の販路拡大につながり、６次産業化の推進につながった。 | | |
| | 3 | 事業名 | 市民農園制度等の実施 | 担当部署 | 農とみどり保全課 |
| | | 概要・実績 | 市内に貸農園を開設し、市民の方が農業を体験できる機会を提供した。令和2年度は、貸農園（2個所）について、令和2年5月～7月にかけて更新を実施し、利用率100%を達成することができた。 | | |
| | 4 | 事業名 | 都市型貸農園の開設 | 担当部署 | 農とみどり保全課 |
| | | 概要・実績 | 現在、藤井寺市の貸農園の開設は藤井寺市農研連絡協議会が貸農園を２園開設しており、都市農地所有者、民間事業者による市民農園の開設方法等の相談を実施している。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | 新型コロナウイルス感染症の影響のなか、事業者・農家への訪問もままならない状況であり、さらには、技術援助も困難であった為、一部で未着手のものがあった。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 関係機関の情報収集を行い、引き続き検討していく。 | | |

# 基本目標3　藤井寺市で安心して元気に暮らす

【数値目標】

| 指標名 | 基準値（H30年度or R元年度） | 令和2年度実績値 | 目標値（令和5年度） | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| 健康寿命 | 男性:79.3歳<br>女性:83.0歳<br>（H29年度） | 男性:79.4歳<br>女性:83.2歳<br>（H30年度） | 平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 | △横ばい | 単年比較のため、要因分析困難。 |
| 藤井寺市に住み続けたいと思う市民の割合 | 57.6% | － | 70% | ― | 総合計画策定時のアンケート調査結果のため、単年度では測定不可。 |

## 戦略プロジェクト3-1　健康長寿のまちづくり

【プロジェクトの概要】

○健康で自立した生活を送ることができるように、自主的・積極的な健康づくりや介護予防活動への参加を促すよう努めます。また、心の豊かさや生きがいを持った暮らしにつながるように、社会参加の場の充実を図るよう取り組みます。

【重要業績評価指標（KPI）】

| 指標名 | 基準値（H30年度or R元年度） | 令和2年度実績値 | 目標値（令和5年度） | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| 特定健康診査実施率 | 47.6%<br>（H30暫定） | ― | 60% | ― | 令和2年度実績は令和3年11月でないと出ない。 |
| 特定保健指導実施率 | 42.6%<br>（H30暫定） | ― | 60% | ― | 令和2年度実績は令和3年11月でないと出ない。 |
| 「ええとこふじいでら♪体操」に継続的に取り組む住民グループ数 | 15グループ | 1グループ | 45グループ | ×下降 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため「ええとこふじいでら♪体操」を見込み通り行うことができなかったため。 |
| 老人クラブ員数 | 3,105人 | 3,034人 | 3,200人 | ×下降 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を控えたこともあり、新たな会員の加入が困難な状況であったため。 |

【施策の内容に対する実施評価】

| 施策の内容①（PLAN） | | | 介護予防の推進 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 介護予防事業の推進 | 担当部署 | 高齢介護課 |
| | | 概要・実績 | リハビリ職と協働で体操イベントの実施を行い、住民の介護予防活動に取り組んでいる。また地区での活動に参加し、体操の普及活動を行い、地域の介護予防の推進を行った。 | | |
| | 2 | 事業名 | 住民主体の介護予防の展開 | 担当部署 | 高齢介護課 |
| | | 概要・実績 | リハビリ職と協働で地区会館等で体操のイベントを実施し、体操に必要なおもりの貸し出しを行う等、住民主体の介護予防活動の展開に取り組んだ。 | | |
| | 3 | 事業名 | 訪問型の介護予防の推進 | 担当部署 | 高齢介護課 |
| | | 概要・実績 | 日常生活の中でできないことや困ったことが出てきたときに、高齢者本人や家族、担当ケアマネジャーから申込を受け、専門職（リハビリ職・管理栄養士）が本人宅へ訪問し、指導や助言を行う同行訪問を実施した。<br>また、同行訪問時の状態等により短期集中的な支援により状態が改善する可能性があると判断した場合は、ケアマネジャーが自立に向けた目標を設定し、約3か月（最長6か月）を目安に訪問型サービスCを実施した。 | | |
| | 4 | 事業名 | 「ええとこふじいでら♪体操」の普及 | 担当部署 | 高齢介護課 |
| | | 概要・実績 | 地区会館等での集まりに市職員、リハビリ職が赴き、市のご当地体操「ええとこふじいでら♪体操」をきっかけとした地域の通いの場の普及を行った。 | | |
| | 5 | 事業名 | 100歳まで生きよう運動の実施 | 担当部署 | 高齢介護課 |
| | | 概要・実績 | 介護予防等に着目した高齢者主体の健康づくり活動として、老人クラブに対して保健・医療・福祉に関係する本市担当部署及び関係部署等が各種講座等を実施することにより、健康づくりや生きがいづくり、防災等に自主的に取り組む意識の醸成を図っている。<br>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響もあり、実施なし。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | 新型コロナウイルス感染症拡大による影響により通いの場の開催を中止している地域が多いため、「ええとこふじいでら♪体操」の普及については計画通り進んでいない。しかし、自宅にいながら介護予防に取り組めるように、ユーチューブの「藤井寺市公式チャンネル」において、「ええとこふじいでら♪体操」をはじめ、「５分で分かる介護保険のこと」等、介護予防に役立つ動画の配信を行っている。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 介護予防に役立つ動画の配信などの情報に高齢者が自ら触れ、介護予防に取り組むことができるよう、スマホ講座を開催予定である。 | | |

| 施策の内容②（PLAN） | 健康づくり活動の推進 | | |
|---|---|---|---|
| 主な取組（DO）1 事業名 | 健康相談、健康教育 | 担当部署 | 健康課 |
| 1 概要・実績 | 健康相談、運動や栄養等に関する教室を実施した。<br>令和2年度実績（健康増進事業分）<br>　健康相談：138回　延284人　　健康教育：26回、延210人 | | |
| 2 事業名 | 健康マイレージ事業「ふじいでら健康チャレンジ」の推進 | 担当部署 | 健康課 |
| 2 概要・実績 | 「ふじいでら健康チャレンジ」を継続実施した。<br>令和2年度実績　298人 | | |
| 3 事業名 | 特定健康診査、特定保健指導 | 担当部署 | 保険年金課 |
| 3 概要・実績 | 新型コロナ感染症対策に留意し、藤井寺市医師会の健診担当医師と連携を取りながら、訪問や電話・通知での健診受診勧奨を実施した。<br>特定保健指導実施率向上の取り組みとして、市立藤井寺市民病院で健診を受診した方に対して、健診結果説明時に直接特定保健指導が受けられるよう、市立藤井寺市民病院と協議して実施した。 | | |
| 4 事業名 | がん検診事業 | 担当部署 | 健康課 |
| 4 概要・実績 | 各種がん（胃・大腸・肺・子宮・乳）の早期発見を図ることを目的として、がん検診を実施した。<br>令和２年度実績 | | |

| 検診名 | | 対象者数 | 実績 |
|---|---|---|---|
| 胃がん | 集団 | 40,070 | 1,622 |
| | 個別 | | 45 |
| 肺がん | 集団 | 40,070 | 2,173 |
| | 個別 | | 52 |
| 大腸がん | 集団 | 40,070 | 2,373 |
| | 個別 | | 146 |
| 子宮がん | 集団 | 28,264 | 122 |
| | 個別 | | 1,185 |
| 乳がん | 集団 | 21,607 | 1,085 |
| | 個別 | | 157 |

| | |
|---|---|
| 評価（CHECK） | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 |
| 評価理由・課題 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、健康づくりに関する講座などの中止・変更が生じた。新型コロナウイルス感染症の動向や感染拡大防止策に留意しながら実施することが課題である。 |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | 引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を取りながら、市民の健康づくりを支援し、疾病の発症予防や早期発見、重症化を予防する取り組みを進め、健康寿命の延伸を図る。 |

| 施策の内容③（PLAN） | 社会参加の促進 | | |
|---|---|---|---|
| 主な取組（DO）1 事業名 | 老人クラブ活動への支援 | 担当部署 | 高齢介護課 |
| 1 概要・実績 | 老人クラブに関する各種案内や助成などの支援を関係機関と共に実施した。<br>（老人クラブ会員数：3,034名） | | |

| | |
|---|---|
| 評価（CHECK） | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 |
| 評価理由・課題 | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、老人クラブ活動について、一部の活動を控えることとなった。そのため、新たな会員の勧誘などに一定の影響を与えざるを得なかった。 |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえながら、対面によらない訪問活動など、継続できる活動を実施する方針。収束後には、関係機関と共に従来の生きがいづくりに繋がる活動支援に努める。 |

<table>
<tr><td colspan="3">施策の内容④<br>（PLAN）</td><td colspan="3">高齢者にやさしいまちづくりの推進</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な取組（DO）</td><td rowspan="2">1</td><td>事業名</td><td>公共交通の利便性向上に向けた取組</td><td>担当部署</td><td>まち建設課</td></tr>
<tr><td>概要<br>・<br>実績</td><td colspan="3">公共交通に関する検討として、大阪府内で公共交通施策に取り組んでいる市や民間バス事業者に聞き取り調査を実施した。また、庁内会議を実施し、関係部署の事業内容や課題を共有した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>事業名</td><td>鉄道、路線バス、公共施設循環バス等のネットワークの充実</td><td>担当部署</td><td>まち建設課</td></tr>
<tr><td>概要<br>・<br>実績</td><td colspan="3">公共交通に関する検討として、大阪府内で公共交通施策に取り組んでいる市や民間バス事業者に聞き取り調査を実施した。また、庁内会議を実施し、関係部署の事業内容や課題を共有した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>事業名</td><td>公共施設等のバリアフリー化の推進</td><td>担当部署</td><td>福祉総務課、都市計画課</td></tr>
<tr><td>概要<br>・<br>実績</td><td colspan="3">大阪府福祉のまちづくり条例に基づき、事前協議を行う体制を整備した。</td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">評価（CHECK）</td><td colspan="3">＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成</td></tr>
<tr><td colspan="3">評価理由・課題</td><td colspan="3">コロナ禍の影響により、公共施設循環バス利用者への聞き取りが困難であったこと、さらに令和3年度に全市的なアンケート調査を行うこととなった。<br>公共施設のバリアフリー化については適宜対応している。</td></tr>
<tr><td colspan="3">令和3年度以降の<br>方向性（ACT）</td><td colspan="3">市内公共交通の現状把握や市民アンケート調査等を通じて、課題整理を行い、今後の方向性について検討を行っていく。<br>公共施設のバリアフリー化に努めていく。</td></tr>
</table>

## 戦略プロジェクト3-2　安心していきいきと暮らせるまちづくり

【プロジェクトの概要】

〇地域包括ケアシステムの構築や認知症対策、介護保険サービス等の提供体制の充実を図るなどにより、支援の必要な方が、必要なサービスや支援を受けられるような環境の整備に努め、誰もが安心していきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

【重要業績評価指標（KPI）】

| 指標名 | 基準値（H30年度or R元年度） | 令和2年度実績値 | 目標値（令和5年度） | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| 認知症サポーター数 | 5,116人 | 5,677人 | 6,600人 | △横ばい | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため講座の開催が見込み通り行うことができなかったため。 |

【施策の内容に対する実施評価】

| 施策の内容①（PLAN） | | | 地域包括ケアシステムの構築 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 介護予防ケアマネジメント業務 | 担当部署 | 高齢介護課 |
| | | 概要・実績 | 高齢者自身が住み慣れた地域において、自立した日常生活を送ることができるようにその状態や置かれている環境等に応じて目標を設定し、その達成に向けて支援を行った。<br>その中で必要性に応じて運動や栄養の課題に対応できるようにケアマネジャーと共にリハビリ職や管理栄養士が同行する機会を設けた。 | | |
| | 2 | 事業名 | 総合相談支援業務 | 担当部署 | 高齢介護課 |
| | | 概要・実績 | 相談内容に応じて、他機関との情報共有ができるように常に連携を図った。<br>コロナ禍に伴い、より多様な相談内容にも対応できるよう出張相談にて新型コロナウイルス感染症関係の相談も受け付けるようになった。 | | |
| | 3 | 事業名 | 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 | 担当部署 | 高齢介護課 |
| | | 概要・実績 | ・適切なケアマネジメントにより重度化を予防し、できる限り自立した生活を営むことができるよう、ケアマネジャーの資質向上及びネットワークの構築・強化ができるよう支援した。<br>ケアマネジャー向け研修の開催１回（内容：ケアマネジメント業務　重要ポイント）<br>・予防的観点での地域包括ケアシステムの深化を図っていくことが重要であることから「いきいき笑顔応援プロジェクト」の普及・啓発・強化に努めた。 | | |
| | 4 | 事業名 | 地域ケア会議の実施、在宅医療介護連携推進事業 | 担当部署 | 高齢介護課 |
| | | 概要・実績 | ・地域ケア会議<br>多職種の連携によりケアマネジメントの質の向上を図るとともに、個別ケースの課題分析等によりの積み重ねにより、地域に必要な社会資源の開発や地域づくり、さらには市の計画への反映等、政策形成につなげた。（困難事例等の支援のための個別地域ケア会議、自立支援型地域ケア会議、訪問介護に係る地域ケア個別会議、藤井寺市一体的地域ケア会議）<br>・在宅医療介護連携推進事業<br>医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援を行った。 | | |
| | 5 | 事業名 | 生活支援サービスの体制整備 | 担当部署 | 高齢介護課 |
| | | 概要・実績 | 「藤井寺おしゃべりミーティング」を開催し、市民と意見交換を通じて地域ニーズや課題及び地域資源の把握を行った。 | | |
| | 6 | 事業名 | 「藤・ネット」を活用した多職種間連携の推進 | 担当部署 | 高齢介護課 |
| | | 概要・実績 | 医療と介護の関係者がインターネット上で診療や支援に必要な利用者の情報を共有する「藤・ネット」を運用。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「藤・ネット」の説明会が開催できなかった。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜A＞ 計画通り進行 | | |
| | 評価理由・課題 | | 第７期藤井寺市いきいき長寿プラン通りに進行。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 引き続き計画の沿った整備を進め、地域包括ケアシステムの深化を図る。 | | |

| 施策の内容②（PLAN） | | | 誰もが安心して暮らせるまちづくり | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 認知症施策推進事業 | 担当部署 | 高齢介護課 |
| | | 概要・実績 | 認知症サポーター養成講座を実施した。（サポーター数累計 5,677名） | | |
| | 2 | 事業名 | 家族介護支援事業 | 担当部署 | 高齢介護課 |
| | | 概要・実績 | 介護を行う家族の精神的負担を軽減させながら、より効果的な介護方法を学ぶ場として「介護者家族の会」を開催した。 | | |
| | 3 | 事業名 | 権利擁護業務 | 担当部署 | 高齢介護課 |
| | | 概要・実績 | ・認知症高齢者であって、成年後見制度の支援が必要にも関わらず申立てを行う親族等のいない方について、市長が代わりに申立てを行う。（成年後見等利用支援事業利用件数：0件）<br>・自己決定能力が低下し、1人では福祉サービスを利用できない認知症高齢者及び知的障害者、精神障害者の権利を擁護し、福祉サービスの利用手続きの代行を社会福祉協議会で行った。（日常生活自立支援事業利用件数：43件） | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、いずれの事業も控えざるを得ない期間があり、事業実施を見送らざるを得ない期間があった。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 当面の間、新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえて会合や対面での講座等は控えるものの、電話やオンラインでの実施も含めた新たな活動手法を検討し、実施可能な手法により事業継続に努める。 | | |

| 施策の内容③（PLAN） | | | 介護保険サービス、多様な支援の充実 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 介護保険事業者連絡協議会との連携 | 担当部署 | 高齢介護課 |
| | | 概要・実績 | 新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえて、介護サービス事業所へ事業継続への情報発信等を介護保険事業者連絡協議会を通じて行った。 | | |
| | 2 | 事業名 | 介護給付費適正化事業 | 担当部署 | 高齢介護課 |
| | | 概要・実績 | ・介護認定調査の点検件数：全件<br>・ケアプラン点検件数：43件<br>・住宅改修訪問調査件数：1件<br>・福祉用具購入・貸与調査件数：0件<br>・介護給付費通知送付回数：年3回 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜A＞ 計画通り進行 | | |
| | 評価理由・課題 | | 第７期藤井寺市いきいき長寿プラン通りに進行。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 引き続き、計画に沿った整備を進め、適正な介護給付の推進に努める。 | | |

## 戦略プロジェクト3-3　多彩な人がつどい、活躍するまちづくり

【プロジェクトの概要】

〇市内で活動する市民や市民公益活動団体等多様な主体同士の連携の輪を広げ、活発な交流を通じた活気あふれるまちづくりを進めます。
〇安全で安心な住みよい地域社会を築くため、市民協働によるまちづくりを推進します。

【重要業績評価指標（KPI）】

| 指標名 | 基準値（H30年度or R元年度） | 令和2年度実績値 | 目標値（令和5年度） | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| 自治会加入率 | 65.6% | 65.9% | 72.0% | △横ばい | 自治会加入促進施策の取り組みが不十分であったため。 |
| シルミルいんふぉ活用団体（者）数 | 28件 | 29件 | 33件 | △横ばい | シルミルいんふぉの周知不足のため。 |

【施策の内容に対する実施評価】

| 施策の内容①（PLAN） | | | 多様な地域活動の促進 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 自治会など地域コミュニティ活動への参加促進 | 担当部署 | 協働人権課 |
| | | 概要・実績 | ・地区自治会の活動を紹介する「近助のチカラ」を広報紙に掲載し活動をPR（市広報紙10月号、12月号）した。<br>・市民公益活動に関する情報を紹介する冊子「HITOTSUNAGI」を発行し、自治会活動の取組を紹介した。 | | |
| | 2 | 事業名 | 地域課題の解決に向けてともに考える場づくり | 担当部署 | 協働人権課 |
| | | 概要・実績 | 区長会において、校区単位の交流会を３月に実施した。地域間で抱える課題や悩み、コロナ禍での地域活動の取り組み状況を共有された。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | 自治会加入率の減少傾向が続いているため、さらなる加入促進に向けた取り組みが求められる。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 自治会加入率の向上にむけ、広報紙やＳＮＳ等による地域コミュニティ活動の啓発を継続していく。 | | |

| 施策の内容②（PLAN） | 協働のまちづくりに向けた仕組みの構築 | | |
|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） 1 事業名 | 市民公益活動への促進 | 担当部署 | 協働人権課 |
| 1 概要・実績 | 新たに市民活動を始めたい方や積極的に市民活動を発展させていきたい方などを対象に、市民活動をより効果的なものとするために、スキルアップセミナーを実施した。<br>実施回数：5回、参加者数：のべ55人 | | |
| 2 事業名 | ボランティアや市民公益団体、自治会、企業等の多様な主体同士をつなぐコーディネート機能の充実 | 担当部署 | 協働人権課 |
| 2 概要・実績 | 市内の社会的課題対応のために行われる事業活動の創業、運営に関する相談会を開設した。毎月2回を予定していたものの、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言により非接触型の相談に切り替え、メール、FAXでの相談を実施した。<br>総相談件数：12件 | | |
| 3 事業名 | 地域に根差した協働コーディネーターの発掘・育成 | 担当部署 | 協働人権課 |
| 3 概要・実績 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、市民活動において参集型での事業実施が難しいことから、地域のパイプ役として活動されている区長に対し、ICT技術を活用した組織運営や事業運営に必要な知識、技術の習得を目的としたオンラインツール勉強会を2月に実施した。<br>参加者数：12人 | | |
| 4 事業名 | 各種審議会等における公募委員の登用 | 担当部署 | 協働人権課 |
| 4 概要・実績 | 平成28年4月に「審議会等の公募委員選任促進に関する指針」を策定済みであり、本市審に基づき市民委員を公募している。 | | |
| 5 事業名 | パブリックコメント制度の活用 | 担当部署 | 協働人権課 |
| 5 概要・実績 | 平成28年4月に「藤井寺市パブリックコメント手続実施要綱」を策定済みであり、本要綱に基づき、パブリックコメントを実施している。 | | |
| 6 事業名 | 市民と話すタウンミーティングの開催 | 担当部署 | 協働人権課 |
| 6 概要・実績 | 新型コロナウイルス感染症の影響を加味し、オンライン形式で3回実施した。 | | |
| 評価（CHECK） | ＜A＞ 計画通り進行 | | |
| 評価理由・課題 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、市内で活動する市民や市民公益活動団体等の活動自粛やそれに伴う地域力の低下が懸念される。新たな生活様式に対応した市民活動・地域活動の在り方について検討及び支援が必要。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | 上記の実施事業を継続、発展させ、さらなる協働のまちづくりの推進を目指す。また令和3年度中には協働のまちづくり基本指針の改定を予定しており、改定を契機とした取り組みとしてフォーラムや市内の市民公益活動団体等のパネル展を開催予定。 | | |

| 施策の内容③（PLAN） | 支え合い、助け合うまちづくりの推進 | | |
|---|---|---|---|
| 主な取組（DO）1 事業名 | 第1層生活支援コーディネーターとの連携による支え合い・助け合いの体制づくり | 担当部署 | 高齢介護課 |
| 1 概要・実績 | 高齢者に向けて介護予防や生活に役立つ情報をわかりやすく記事にした情報紙「ナイス！つながり情報便」を生活支援コーディネーターが発行し、市広報で募集した希望者に郵送した。情報紙は読むだけではなく、自作の川柳やポエム、絵や写真などを投稿することも可能であり、人とのつながりを感じられることも目的とする。 | | |
| 2 事業名 | コミュニティソーシャルワーカー（ＣＳＷ）の配置 | 担当部署 | 福祉総務課 |
| 2 概要・実績 | 委託先の藤井寺市社会福祉協議会に、ＣＳＷを２名配置している。 | | |
| 3 事業名 | 生活困窮者等の就労による自立支援の推進 | 担当部署 | 生活支援課 |
| 3 概要・実績 | 生活困窮者就労支援員を1名配置している。 | | |
| 4 事業名 | 障害のある人の就労や定着に向けた支援体制の整備 | 担当部署 | 福祉総務課 |
| 4 概要・実績 | 就労移行支援・就労定着支援等の障害福祉サービスの適切な支給決定を行った。<br>コロナ禍の影響で、例年関係機関と共同で実施していた雇用フォーラムが中止となり、障害者支援会議も書面での開催に留まった。 | | |
| 評価（CHECK） | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| 評価理由・課題 | 新型コロナウイルス感染症への対策を行いながら個別訪問等による地域の見守り活動を実施し、地域のネットワークづくりに継続して取り組んだ。しかしながら、グループ活動については、感染症拡大防止のため控えることとなった。<br>関係機関との個別ケースでの情報共有等は実施したが、合議体での情報共有は感染症拡大防止のため控えることとなった。<br>これまで支え合いのきっかけづくりとして積極的に集まり他者と交流する「通いの場」や「居場所」の普及を推進してきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためこのような取組を推進できない状況となった。そこで、家からでも参加できたり、つながりを感じてもらえる取組として住民参加型の情報紙「ナイス！つながり情報便」を発行した。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | 活動をわかりやすく伝えるための周知を行いながら、継続的に見守り活動を実施する。<br>グループ活動についても、これまで屋内で集まって実施していた活動について、屋外での活動場所を確保することなどにより、活動を実施する予定。<br>雇用フォーラムや障害者支援会議の開催を予定。障害者の職場体験の実施など市独自施策の実施を検討中。<br>感染予防対策を行いながら、地域に出向き、支え合いや活動があるか把握するとともに、コロナ禍でも他者とつながりを持てるような取組を推進していく。<br>今後も継続してＣＳＷ及び生活支援コーディネーターを配置予定。 | | |

## 戦略プロジェクト3-4　まちの安全・安心の確保

【プロジェクトの概要】

〇安全で安心して暮らせる環境づくりの観点から、空家対策特措法及び藤井寺市空家対策計画に基づき、適切な対策を行うとともに、子育て世代等の住宅ニーズに応じた活用策について検討を図り、定住を促進します。
〇自治会等コミュニティにおける活動の促進により、市民同士の連携を強め、安全・安心な暮らしの確保に努めます。
〇利便性が高く、持続可能なまちづくりに向けて、公共施設等の利活用・長寿命化を図ります。

【重要業績評価指標（KPI）】

| 指標名 | 基準値（H30年度or R元年度） | 令和2年度実績値 | 目標値（令和5年度） | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| 空き家情報のデータベース化 | 100% | 100% | 100% | 〇計画通り | 空家等対策計画策定時に作成したデータベースを随時修正。 |
| 自主防災組織結成数 | 30地区 | 30地区 | 37地区 | △横ばい | 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、十分な取組が実施できなかったことによる。 |

【施策の内容に対する実施評価】

| 施策の内容①（PLAN） | | | 空き家等の活用 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 定期的な空家の実態把握 | 担当部署 | 都市計画課 |
| | | 概要・実績 | 定期的に市内の空家について、見回りを行っている。 | | |
| | 2 | 事業名 | 空き家利活用促進事業の推進 | 担当部署 | 都市計画課 |
| | | 概要・実績 | 個別相談会を１回開催した。<br>空き家バンク登録数：利用者登録１件 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | 利活用に関して空き家バンク制度を平成31年1月に創設した。また、空家所有者等を対象とし、適正管理や利活用に関する周知啓発を目的とした空家セミナーと個別相談会を開催予定であったが、新型コロナウィルスの感染拡大防止のため個別相談会のみの開催となった。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 空き家バンク制度の登録件数が2件であり、あまり市民に認知されていない状況である。今後、登録件数を増やすため、制度のメリットなどを大阪の住まい活性化フォーラムと連携して行う空家セミナーの他、住環境整備について連携協定を締結した不動産団体による無料相談会の開催等で積極的に発信し、本制度が有効なものとなるよう努めて行く必要がある。 | | |

| 施策の内容②（PLAN） | | | 地域防災・防犯力の充実・強化 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な取組（DO） | 1 | 事業名 | 救急需要対策・応急手当普及啓発事業 | 担当部署 | 危機管理室 |
| | | 概要・実績 | 救急隊の増隊、出場範囲の見直し及び小学5年生を対象にした「救急入門コース」を実施した。 | | |
| | 2 | 事業名 | 自主防災組織事業 | 担当部署 | 危機管理室 |
| | | 概要・実績 | 訓練への協力を行った。 | | |
| | 3 | 事業名 | 消防団活動への支援 | 担当部署 | 危機管理室 |
| | | 概要・実績 | 新たな装備品の購入を行った。 | | |
| | 4 | 事業名 | 防災体制の充実 | 担当部署 | 危機管理室 |
| | | 概要・実績 | 備蓄物資等の充実、備蓄倉庫の新規設置等を行った。 | | |
| | 5 | 事業名 | 民間企業との防災協定の締結促進 | 担当部署 | 危機管理室 |
| | | 概要・実績 | 宿泊施設（2ヶ所）との避難所としての利用に関する協定を新たに締結した。 | | |
| | 6 | 事業名 | ハザードマップの周知・充実 | 担当部署 | 危機管理室 |
| | | 概要・実績 | 広報紙やSNS等を通じた周知を継続して実施している。令和3年度には更新予定である。 | | |
| | 7 | 事業名 | 雨水対策事業の推進 | 担当部署 | 下水道総務課 |
| | | 概要・実績 | 集中豪雨など降雨による、浸水被害の軽減を目的とした事業として、京樋雨水幹線の整備（L=36m）を実施した。 | | |
| | 8 | 事業名 | 危機管理体制の充実・強化 | 担当部署 | 危機管理室 |
| | | 概要・実績 | 情報伝達手段の円滑な運用、多様化に係る検討を実施した。 | | |
| | 9 | 事業名 | 国土強靭化の推進 | 担当部署 | 危機管理室 |
| | | 概要・実績 | 「国土強靭化地域計画」を新たに作成した。 | | |
| | 10 | 事業名 | 防犯対策事業 | 担当部署 | 危機管理室 |
| | | 概要・実績 | コロナ禍で殆どの事業が実施できず、啓発活動が中心であった。 | | |
| | 11 | 事業名 | 防犯カメラの更新・修繕 | 担当部署 | 危機管理室 |
| | | 概要・実績 | 地区における防犯カメラの増設・更新・修繕等についての支援を継続して実施した。 | | |
| 評価（CHECK） | | | ＜B＞ 概ね計画通りだが、一部未実施・未達成 | | |
| | 評価理由・課題 | | 自主防災組織への支援、コロナ禍での防災・防犯に係る事業展開などに課題が残る。 | | |
| 令和3年度以降の方向性（ACT） | | | 新型コロナウイルス感染症の状況にも注視しつつ、地域や関係団体等と連携した事業の推進、環境の整備等に努める。 | | |

<table>
<tr><td colspan="3">施策の内容③<br>（PLAN）</td><td colspan="3">公共施設等の適正化の検討・推進</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な取組（DO）</td><td rowspan="2">1</td><td>事業名</td><td>公有財産の適正管理</td><td>担当部署</td><td>資産活用課</td></tr>
<tr><td>概要<br>・<br>実績</td><td colspan="3">Yahoo!官公庁オークションによる不要物品の売却を実施した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>事業名</td><td>公共施設等の保全・最適配置に向けた取組推進</td><td>担当部署</td><td>資産活用課</td></tr>
<tr><td>概要<br>・<br>実績</td><td colspan="3">市営火葬場の耐震化に向けた設計業務を実施した。<br>廃園となった旧道明寺幼稚園、旧藤井寺南幼稚園野中分園の除却を実施した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>事業名</td><td>民間活力を活かした公共施設の管理・運営</td><td>担当部署</td><td>資産活用課</td></tr>
<tr><td>概要<br>・<br>実績</td><td colspan="3">民間を活用した図書館・体育館・スポーツセンターの複合化検討として、採択可能性のある補助金調査や民間活力導入についての市場調査を実施した。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">評価（CHECK）</td><td colspan="4">＜A＞ 計画通り進行</td></tr>
<tr><td>評価理由・課題</td><td colspan="3">公共施設等総合管理計画等に基づき、施設の耐震化や除却等を行った。<br>また、公民連携を絡めた施設整備に関しては、手法等も含め、引き続き検討を進める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">令和3年度以降の<br>方向性（ACT）</td><td colspan="4">引き続き、公共施設等の適正化に向けた検討を行い、取組を進める。</td></tr>
</table>